連合

RENGO

弁理士連合クラブ創立30周年記念特集号



奥浜名湖「龍潭寺」

No.28
2018

弁理士連合クラブ会報

連合

RENGO

弁理士連合クラブ創立30周年記念特集号

巻頭言

弁理士連合クラブは、
平成29年で創立30周年という記念すべき年を迎えることができました。
記念誌を発行するにあたり幹事長としてご挨拶申し上げます。

弁理士連合クラブは、昭和62年（1987年）9月29日に
「知的財産制度及び弁理士制度の改善と向上を図る」ことを目的として設立されました。
そして、平成29年11月30日に、創立30周年の記念事業の一環として、
第一ホテル東京において記念式典及び祝賀会を開催させていただきました。
弁理士連合クラブは、これまで日本弁理士会会長をはじめとする
多くの役員や有為な人材を多く輩出して参りました。
われわれ弁理士を取り巻く環境は大きく変わっておりますが、
これまでと変わらず知財立国を担う弁理士の団体として、
この30周年を新たなスタートとできればと思っております。
最後になりますが、青山仁実行委員長をはじめとする実行委員の皆様、
そしてこの記念誌を発行するにあたり、資料の収集・編集等に多大なご尽力いただきました
各位の惜しみない努力に心より感謝いたしまして、発刊の言葉とさせていただきます。

2018年6月吉日

弁理士連合クラブ幹事長　粕川 敏夫

目 次

弁理士連合クラブ創立30周年記念特集号

巻頭言　弁理士連合クラブ幹事長　粕川　敏夫

特集：弁理士連合クラブ創立30周年記念式典・祝賀会

開会の辞　弁理士連合クラブ創立30周年記念事業実行委員長　青山　仁・・・・・・・・・・・・・2
幹事長挨拶　弁理士連合クラブ幹事長　粕川　敏夫・・・・・・・・・・・・・3
来賓ご祝辞　日本弁理士会会長　渡邉　敬介・・・・・・・・・・・・・4
日本弁理士クラブ幹事長　鈴木　一永・・・・・・・・・・・・・5
西日本弁理士クラブ幹事長　清水　義仁・・・・・・・・・・・・・6
式典表彰者・・・・・・・・・・・・・

特　集

弁理士連合クラブ創立30周年記念式典・祝賀会

開会の辞



弁理士連合クラブ 創立30周年記念事業実行委員長

青山　仁

弁理士連合クラブ創立30周年記念事業実行委員会の委員長を仰せつかっております青山 仁です。

まずは、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜りました多数のご来賓の皆様方、並びに弁理士連合クラブの会員の皆様方に心より感謝申し上げます。

また、本日は、当クラブの創立30周年を記念しまして、この10年間における功績が特に顕著であった当クラブ会員の方々を表彰させていただく予定です。表彰を受けられます方々に対しましては、その功績に敬意を表しますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

さて、私共、弁理士連合クラブは、創立30周年という一つの節目を迎えることができました。これも一重に、本日ご臨席をいただいております皆様をはじめとする多くの皆様のご理解・ご協力のお蔭であります。創立以降今日に至るまで弁理士連合クラブを支えて下さった全ての方に改めて深く御礼申し上げます。

本日の記念式典が、皆様および弁理士連合クラブの次の10年をより良きものとするための何らかのヒントが得られる「温故知新」の機会になれば幸いです。

それでは、これより弁理士連合クラブ創立30周年記念式典を開会致します。

幹事長挨拶



弁理士連合クラブ 幹事長
粕川　敏夫

本日はお忙しいところ、弁理士連合クラブ30周年記念式典にご臨席いただき、誠にありがとうございます。

日本弁理士会及び関係機関の役員の皆様、日本弁理士クラブ及び西日本弁理士クラブの皆様には多数ご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

また、弁理士連合クラブの会員の先生方には、これまで当クラブを支えていただきましたこと、また本日の記念事業に多大なるご支援・ご尽力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

当クラブは、弁理士クラブと弁理士同友会（当時は「桜門弁理士クラブ」）とによって、今から30年前の昭和62年9月29日に創立されました。

一番若いクラブではありますが、これまで日本弁理士会会長を初めとする各種の役員を輩出し、様々な政策を提言・実行することで、日本弁理士会及び知的財産業界の発展に尽力して参りました。これまでの先輩方のご尽力には改めて敬意を表するところであります。

30年前の昭和62年と申しますと、今では広く普及している携帯電話のサービスが開始された時期でもあります。特許業界では改善多項制が採用され、特許出願件数は約34万件、実用新案登録出願も約20万件で、併せて約50万件の出願があり、弁理士数は約3,000人の時代でありました。

現在では特許・実用新案の出願件数を併せても30万件を切る程に減少しており、反面弁理士数は1万人を上回るようになっております。

このような大きな時代の変化を迎え、我々弁理士も、これまでの出願代理業務を中核としつつ、知的財産の専門家として、幅広い活躍が期待されるところだと思っております。

弁理士連合クラブとしても、日本弁理士クラブ、日本弁理士クラブの皆様を一致協力して、日本弁理士会の発展と、日本の知的財産立国に向けて、引き続き有為な人材を輩出し、尽力していく覚悟でございます。

本日ご臨席の皆様には、より一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に、本日ご臨席いただきました皆様のさらなるご活躍と、日本弁理士会の益々の発展を祈念するとともに、本日の記念式典の実行のためにご準備いただいた青山仁実行委員長をはじめとする委員の皆様に感謝の意を表し、私の挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

来賓ご祝辞



日本弁理士会会長

渡邉　敬介

日本弁理士会会長の渡邉敬介でございます。

弁理士連合クラブ創立30周年、真におめでとうございます。また、本日表彰された弁理士連合クラブの先生方、重ねておめでとうございます。

貴クラブは、1987年（昭和62年）9月29日に、弁理士クラブと、当時桜門弁理士クラブと称されていた、現在の弁理士同友会との連合組織として設立されたと伺っております。貴クラブが設立された1987年は、1ドルは150円ほどでしたが、急速な円高に悩まされていた時代である一方、まだまだバブル景気の中にあった時代です。また、1981年～1989年の8年間の任期を全うしたレーガン大統領のプロパテント政策の勢いを直に感じられた時代です。貴クラブは、このような時代背景の下で誕生し、その後2002年に小泉純一郎首相が国家戦略として打ち出した「知財立国」の流れと共に充実した道を歩んで来られたのだと思います。

ところで、弁理士で構成している会派としては、貴クラブを初めとする2つの連合体と、貴クラブを構成する弁理士クラブおよび弁理士同友会を初めとする8つの単位会が存在しております。これらの会派の大きな役割の一つとして、日本弁理士会の運営に携わる人材の育成と供給があります。これまで貴クラブは、日本弁理士会会長を初めとして、有能な人材を多数日本弁理士会へ送り込み、その運営に多大な功績を上げられております。その実績に敬意を表する次第です。

日本弁理士会が100周年を迎えた時に編纂されました「弁理士制度100年史」の別冊のデータによりますと、貴クラブが誕生した1987年当時の弁理士数は3,048人です。これに対して現在の弁理士数は、1万1千人を超えています。しかし、会派に属する弁理士の割合は年々低下し、以前は圧倒的多数であった会派所属の弁理士の割合は、現在は5割以下、それも徐々に4割に近づいてきているのではないかと推測されます。

先に触れましたように、会派には、日本弁理士会の運営に携わる人材の育成と供給という役割があります。日本弁理士会の事業規模は、弁理士数の増大と共に拡大してきています。会派に属する弁理士の割合低下は、事業規模が拡大しつつある日本弁理士会の運営に必要な人材の確保に不安を生じさせています。これからは、会派が協力してこの問題を解決していくことが重要であると思います。また、そのためには、会派間の交流を深め、相互の情報交換ができるだけスムーズに行われるようにしていくことが必要だと思っております。貴クラブの協力の下、より良い人材の育成と供給体制が整えられることに期待しております。

最後になりますが、30周年を迎えられた貴クラブが、これからも益々発展されて行かれることを祈念いたしまして、私のご挨拶とさせて頂きます。

来賓ご祝辞



日本弁理士クラブ 幹事長
鈴木　一永

本年度日本弁理士クラブの幹事長を務めております鈴木一永です。

この度、弁理士連合クラブ様が創立30周年を迎えられましたことに対し心からお祝い申し上げます。また、本日表彰の栄を受けられた弁理士連合クラブの先生方、誠におめでとうございます。先生方のご功績に深く敬意を表します。

貴弁理士連合クラブが創立された昭和62年（9月29日）当時は、弁理士登録数は、約3,000人程度であり、調べてみると、この年は、国鉄の分割民営化・JRの誕生、財テクがブームとなり、地価の高騰が話題となりいわゆるバブルがその崩壊に向けた歩みを顕著に拡大し始めた時期だったようです。当時そしてバブル崩壊（平成4年前後）後、現在失われた20年と言われる低成長期に突入したにもかかわらず、私たちの弁理士業界は、引き続き堅調な成長を続けておりました。しかし、平成12年頃の知的財産立国宣言後、弁理士数の急激な増加、出願数の減少、標準価格表の撤廃等を契機として、長期低落の時代に突入し現在に至っており、復活の兆しを探すことさえ困難な状況が続いており、我々日本の弁理士を取り巻く環境は年々厳しくなっております。

この状況を打開し、知的財産制度を有効に機能させるためには、我々弁理士が高度な専門的知識を発揮できる様に業務環境を整える必要があろうかと思います。この業務環境の改善を実現するには、我々一人一人の行動が必要であり、日本弁理士会を中心に個々の力を結集することが求められると思います。

弁理士連合クラブ様が創設以来30年にわたり、日本弁理士会の会長、副会長をはじめとする役員、各委員会の委員を多数輩出され、日本弁理士会を支えてきて下さいましたことにあらためて敬意を表します。

貴クラブにおかれましては、これからも引き続き日本弁理士会を支え、弁理士業界を引っ張っていって下さいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴クラブのますますのご発展と所属されていますクラブ会員の方々のご活躍を祈念して、私のお祝いの言葉とさせて頂きます。

本日はおめでとうございました。

来賓ご祝辞



西日本弁理士クラブ 幹事長
清水　義仁

本年度西日本弁理士クラブの幹事長を務めております清水義仁です。

この度、弁理士連合クラブ様が創立30周年を迎えられましたことに対し心からお祝い申し上げます。

また本日表彰の栄を受けられた弁理士連合クラブの先生方、誠におめでとうございます。先生方のご功績に深く敬意を表します。

貴クラブが創立されたのは30年前。今年は平成29年ですから、ほとんどを平成の時代とともにあったということになります。先日開催された弁理士クラブ様の70周年は、70年前の時代の実感がありませんでしたが、平成の時代なら私も知っております。自分が生きてきた時代なのですが、思い返してみるとこの30年でさまざまなことがかなり変わっていることに気づき驚きました。

昭和の最後の2年と平成の最初の2年あたりがバブル時代ですので、30年前はちょうどバブル時代です。

今は肌身離さず持っているスマートフォンですが、30年前当時は携帯電話すらありませんでした。ポケベルが登場し始めた頃です。ワープロが普及しつつありましたが、まだパソコンはMS－DOSの時代です。Windows 3.1 が1992年、今から25年前です。一般に普及しだしたWindows95や98が約20年前。この頃になるともうみんなパソコンを持ってワープロソフトで明細書を書くようになっていたと思います。

特許だと、発明者から説明を聞いてポイントをつかんで明細書に仕上げる、という仕事の頭を使う部分は変わっておりませんが、使う道具やシステムは変わることで仕事のスタイルは変化しております。

電子メールを一般的に使うようになったのもここ15年くらいではないでしょうか。当初はセキュリティ面を心配し、クライアントとのメールでのやりとりはかなり制限していました。以前は何十頁もの明細書案文をFAXで送っておりましたが、今はほとんどの方がメールでの送付だと思います。

当時は別に不自由を感じておりませんでしたが、一旦新しい便利を知ってしまうと戻れない。このような時代の変化を確認すると、ビジネスのスタイルは徐々にではありますがずっと持続的に変化していることが分かります。

最近何かと話題の人工知能、AIですが、知的労働である我々の仕事にも徐々に取り込まれてきて10年後位にはAIにサポートされての仕事スタイルが当たり前になるのかもしれません。しかし弁理士の力が最も発揮される頭を使う中核部分は、当分AIに置き換わることはないと思います。

我々弁理士は知財制度のメインプレイヤーであり、その果たすべき役割は大きいと考えます。

今、我々日本の弁理士を取り巻く環境は厳しくなっております。

しかし知財制度を機能させるためには、我々弁理士が高度な専門的知識を発揮できる仕事環境を整える必要があろうかと思います。

そのためには、我々一人一人の力を、日本弁理士会を中心に結集することが求められると思います。

弁理士連合クラブ様は、この30年間、ずっと日本弁理士会を支えてきて下さいました。敬意を表します。これからも引き続き日本弁理士会を支え、弁理士業界を引っ張っていって下さいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴クラブのますますのご発展と所属されていますクラブ員の方々のご活躍を祈念して、私のお祝いの言葉とさせて頂きます。



表彰者

日本弁理士会会長経験者（２名）

中島　　淳　　古谷　史旺

弁理士連合クラブ幹事長経験者（８名）

川久保新一　　小川　眞一　　渡邉　一平

古谷　史旺　　丸山　英一　　山川　茂樹

山本　晃司　　石川　　憲



ご来賓名簿

日本弁理士会

会　長	渡邊　敬介　殿
副会長	尾崎　光三　殿
副会長	福島　三雄　殿
副会長	本多　敬子　殿
副会長	梶　　俊和　殿
副会長	木戸　良彦　殿
副会長	渡邊　伸一　殿
副会長	瀧野　文雄　殿
副会長	本田　　淳　殿
知的財産経営センター長	松浦喜多男　殿
知的財産支援センター長	羽鳥　　亘　殿
国際活動センター長	大西　正悟　殿
中央知的財産研究所長	北村修一郎　殿
研修所長	田村　　爾　殿
広報センター長	石川　　憲　殿
事務総長	畔上　　淳　殿

日本弁理士クラブ

日本弁理士クラブ	幹事長	鈴木　一永　殿
日本弁理士クラブ	政策委員長	真田　　有　殿
日本弁理士クラブ	副幹事長	柴田富士子　殿
日本弁理士クラブ	副幹事長	堀籠　佳典　殿
日本弁理士クラブ	副幹事長	藤沢昭太郎　殿
日本弁理士クラブ	副幹事長	角田　　朗　殿
日本弁理士クラブ	副幹事長	斉藤　　康　殿

西日本弁理士クラブ

西日本弁理士クラブ	幹事長	清水　義仁　殿
日本弁理士会近畿支部	支部長	吉田　　稔　殿
日本弁理士会中央知的財産研修所	所長	北村修一郎　殿
西日本弁理士クラブ	幹事	永田　元昭　殿

PA会

PA会	幹事長	高橋　雅和　殿
PA会	常任幹事	福田　伸一　殿
PA会	常任幹事	坂本　智弘　殿
PA会	常任幹事	杉村　憲司　殿
PA会	副幹事長	中尾　直樹　殿
PA会	幹事	吉田みさ子　殿

春秋会

春秋会	幹事長	須藤　晃伸　殿
日本弁理士クラブ	相談役	西島　孝喜　殿
日本弁理士クラブ	相談役	清水　善廣　殿
日本弁理士クラブ	協議副委員長	平山　　淳　殿
春秋会	相談役	大澤　　豊　殿
春秋会	相談役	出野　　知　殿
春秋会	相談役	辻田　幸史　殿

南甲弁理士クラブ

南甲弁理士クラブ	幹事長	林　　剛史　殿
南甲弁理士クラブ	顧問	伊丹　　勝　殿
南甲弁理士クラブ	顧問	樺澤　　聡　殿
南甲弁理士クラブ	顧問	金本　哲男　殿
南甲弁理士クラブ	顧問	中村　　仁　殿
南甲弁理士クラブ	筆頭副幹事長	河野　生吾　殿

無名会

無名会	常任相談役	筒井　大和　殿
日本弁理士政治連盟会長 / 無名会常任幹事		水野　勝文　殿
無名会	副幹事長	須藤　雄一　殿
日本弁理士会	執行理事	石原　進介　殿
無名会	幹事長代行	村上　晃一　殿
無名会	幹事長	鶴目　朋之　殿

稲門弁理士クラブ

稲門弁理士クラブ理事（日本弁理士クラブ相談役）		杉村　純子　殿
稲門弁理士クラブ	幹事	榎本　英俊　殿
稲門弁理士クラブ	副幹事長	市川　ルミ　殿
稲門弁理士クラブ	幹事長	大西　達夫　殿

式典 式次第

開会:午後4時45分 閉会:午後5時45分

司会:田辺 恵

一、開会の辞

記念事業実行委員会委員長 青山 仁

一、幹事長挨拶

弁理士連合クラブ幹事長 粕川 敏夫

一、表彰式

表彰者

日本弁理士会会長経験者

幹事長経験者

一、謝辞

日本弁理士会会長経験者代表 中島 淳

幹事長経験者代表 丸山 英一

一、来賓祝辞

日本弁理士会会長 渡邉 敬介殿

日本弁理士クラブ幹事長 鈴木 一永殿

西日本弁理士クラブ幹事長 清水 義仁殿

一、閉会の辞

弁理士連合クラブ副幹事長 笹川 拓

祝賀会 式次第

開会:午後5時45分 閉会:午後7時45分

司会:徳増 あゆみ、美川 公司

一、開会の辞

記念事業実行委員会委員長 青山 仁

一、幹事長挨拶

弁理士連合クラブ幹事長 粕川 敏夫

一、来賓祝辞

日本弁理士会会長 渡邉 敬介殿

日本弁理士クラブ幹事長 鈴木 一永殿

西日本弁理士クラブ幹事長 清水 義仁殿

一、選挙報告及び当選者の紹介

弁理士連合クラブ役員協議委員会委員長 石川 憲

一、乾杯

弁理士連合クラブ相談役 田辺 敏郎

一、歓談

一、新役員挨拶

日本弁理士会次期副会長 黒田 勇治

日本弁理士会次期副会長 田辺 恵

日本弁理士会次期監事 大塚 明博

日本弁理士会次期常議員代表 渡邉 一平

一、アトラクション

一、歓談

一、中締め

弁理士連合クラブ次期幹事長 鈴木 知

一、閉会の辞

弁理士連合クラブ副幹事長 塩野谷 英城



弁理士連合クラブ 創立30周年記念式典・祝賀会

平成29年11月30日第一ホテル東京







式典司会：田辺 恵 会員



閉会の辞：青山 仁 記念事業実行委員会委員長



幹事長挨拶：粕川 敏夫 幹事長



謝辞：中島 淳 会員



謝辞：丸山 英一 会員



式典祝辞：渡邉 敬介 日本弁理士会会長



式典祝辞：鈴木 一永 日本弁理士クラブ幹事長



式典祝辞：清水 義仁 西日本弁理士クラブ幹事長



閉会の辞：笹川 拓 副幹事長


開会の辞：青山 仁 記念事業実行委員会委員長


幹事長挨拶：稲川 敏夫 幹事長


祝賀会祝辞：渡邉 敬介 日本弁理士会会長


祝賀会祝辞：鈴木 一永 日本弁理士クラブ幹事長


祝賀会祝辞：清水 義仁 西日本弁理士クラブ幹事長


選挙報告：石川 憲 役員協議委員会委員長


当選者紹介


乾杯：田辺 敏郎 相談役


新役員挨拶：黒田 勇治 日本弁理士会次期副会長


新役員挨拶：田辺 恵 日本弁理士会次期副会長


新役員挨拶：大塚 明博 日本弁理士会次期監事


新役員挨拶：渡邉 一平 日本弁理士会次期常議員代表






中締め：鈴木 知 次期幹事長


閉会の辞：塩野谷 英城 副幹事長


祝賀会司会：徳増 あゆみ 委員　美川 公司 委員



































ご来賓




平成29年度

会　務　報　告



弁理士連合クラブ創立30周年を迎えて

弁理士連合クラブ 幹事長
粕川　敏夫

機関紙『連合』No.28の発行に添えて、一言ご挨拶申し上げます。

平成29年度の弁理士連合クラブは、昨年度と同様に「弁理士連合クラブの活動の充実」、「日本弁理士会への強力な支援」、「日本弁理士会の支援のための三派体制の確立」をテーマに掲げて活動しました。

「弁理士連合クラブの活動の充実」として、今年は弁理士連合クラブ創立30周年の記念事業を行いました。11月30日には第一ホテル東京で記念式典と祝賀会が盛大に催され、大勢のご来賓の方にご参列いただきました。記念式典では、これまでのご功労に感謝し、この10年間で弁理士会会長をお勤めになられた中島淳先生、古谷史旺先生の表彰をさせていただきました。またこの10年間で幹事長をお勤めいただいた先生方にもそのご功労に感謝し、表彰させていただきました。今回の記念事業の実行に当たっては、青山仁実行委員長をはじめ、弁理士クラブ及び弁理士同友会の会員の皆様の献身的なご協力があって、無事挙行できましたこと、この紙面をもって心より御礼申し上げます。

「日本弁理士会への強力な支援」としては、例年通り、日本弁理士会委員会等の次年度人事検討委員会における会員の推薦などを中心とする人事面での支援と、政策提言を進めました。今年度の取り組みとしては、弁理士連合クラブ選出の梶俊和副会長、本田淳副会長のご協力により、拡大政策委員会として、会務報告会を2回開催させていただきました。この会合では、現在、弁理士会でどのようなことが問題となっているのか、それぞれの副会長がご担当いただいている会務を中心にご説明いただきました。ご説明に対して、会員からの率直な意見も申し上げさせていただき、ベテラン会員だけでなく、若手の会員に対しても、現在の私たち弁理士が置かれている状況・課題と、将来の方向についてご理解をいただけたとともに、微力ながら会務への支援もできたものと思っております。

「三派体制の確立」については、早々に三派幹事長会を開くとともに、例年通り日本弁理士クラブ及び西日本弁理士クラブの旅行会、新旧役員慰労会激励会、選挙当選祝賀会といった行事に参加し、三派の交流を深めました。また、今年は日本弁理士クラブの70周年記念行事、弁理士クラブ70周年記念行事に参加するなどして会派間の交流を図りました。これらの機会に日本弁理士会の課題などについてざっくばらんに意見を述べ合いつつ三派の政策提言に反映させていくことは、会派の活動として何よりも重要な活動であると改めて実感しました。

さて、一年を振り返ってみますと、日本弁理士会の活動は三派の支援があってこそ成り立つものであり、しかも、当クラブの活動は弁理士クラブ及び弁理士同友会の皆様のご理解とご協力に支えられてこそ成り立つものであることを改めて強く認識しました。弁理士クラブ及び弁理士同友会の皆様にはこの一年間ご支援を賜ったことに厚くお礼を申し上げます。今後、弁理士クラブ及び弁理士同友会が益々発展し、その発展が当クラブの活動のさらなる充実へとつながっていくことを願ってやみません。

最後になりましたが、平成29年度の弁理士連合クラブ副幹事長として、役員協議、政策、調整をご担当頂いた塩野谷英城先生、企画、研修をご担当頂いた絹谷晴久先生、総務、30周年記念事業をご担当頂いた笹川拓先生をはじめとして、当クラブの各委員会委員の先生方には、当クラブの運営に多大なるご協力を賜りました。先生方のご尽力がなければ当クラブの活動を進めることは到底不可能でした。ここに心よりお礼申し上げます。

平成30年度は、鈴木知幹事長の下でより活発な活動が展開されることを期待して、私からのごあいさつの結びとさせて頂きます。



ある若手弁理士の会派に対する見方の一例

弁理士同友会 幹事長
髙下　雅弘

今年の初め頃、外国の特許事務所に勤務している友人弁理士が一時帰国するとのことで、親しい仲間10人くらいを交えて飲み会をしておりました。そこで私が会派の幹事長を拝命したことを友人に話すと、その友人弁理士の反応は下記のようなものでした。

「幹事長をやったら、給料とかもらえるんですか?」

経験された先生方であれば皆様ご存じかと思いますが、持ち出しの方が圧倒的に多いことは間違いありません。そこでその旨を話したところ、友人は真顔で下記のように重ねて私に問いかけました。

「そこまでして、そういうこと（幹事長）をやるMotivationは何ですか!?」

ここで彼の名誉のために付け加えさせて頂きますと、彼は、小さいお子さんを抱えて異国の地で生活し、多国語を操りながら弁理士としてどう生きるかを真剣に考えている人間です。決して不真面目だとかそういう人間ではありません。しかし、こういう反応をされることは決して珍しくありません。実際、私自身が友人弁理士に「会派をやっている」という話をしても、大抵は物珍しそうな目を向けられるだけです。

そもそも若手の弁理士試験合格者では「専権」という言葉を意識しない方が多いかもしれません。私は平成21年度弁理士試験合格ですが、同じ受験ゼミで勉強していた、知財業界外から合格した5名の人間のうち、今知財業界で働いているのは私だけです。あとの4名は、今では知財業界にすらおりません。私の合格した時代は年間800人程度の合格者が出ていたこともあるとは思いますが、「専権」があっても食えず、自ら「専権」を捨てた人生を歩んでいる人間が大勢いるわけです。

最近でも、合格した翌年に登録する方は合格者全体の50%程度であると聞きます。弁理士登録をしたからといって、容易にお金になるなんてことはもはやない、だからあわてて登録しない、という背景があるのだと思います。そういう現実を目の当たりにしている世代に対し、いくら「専権が重要」だとか「会派が大切」だとかいうことを唱えても、なかなか共感してもらうのは難しいのが現状だと思います。

企業の知財部に在籍している場合は試験に合格しても「企業に一人弁理士がいれば十分」「経費節減のため、弁理士登録の費用は会社から出さない」といった発想に基づき、なかなか会社の費用で弁理士登録すらできないケースも目立ちます。仮に弁理士登録をしたとしても、弁理士資格取得に伴う何らかの給与増加でもなければ、名刺の片隅に「弁理士」という文字が増えたくらいの意味しか当人にとってはないかもしれません。

そういった現状で、会派に興味を持ってもらい、会派に入ってもらって、活動をして頂くには、果たしてどうすれば良いのでしょうか？ 勿論、私は「これが十分条件である」という回答を持ち合わせてはおりません。しかし、少なくとも「これは必要条件である」ということはあると思います。それは、「仕事を整理して、少ない労力／少ない費用で高い成果を出せるようにすること」です。そもそも利潤にダイレクトに結びつかないこの手の業務は、あたかも宇宙全体のエントロピーのように、誰かの善意に基づいて年々増加し続けるのが常だと思います。そこを立ち止まって考え、一つ一つ、「その仕事はやる意味があるのか?」「その行事は、労力対効果／費用対効果に見合ったものなのか?」ということを検証して整理し、本当に意義のある仕事は何か、本当に私達がやるべき優先順位の高い仕事は何なのか、ということを明らかにすることが必要である

と考えます。非能率な仕事、意義を見出しづらい仕事に対し、優秀な人間が集まってくることはないと思います。

さて、私は「そこまでして、そういうこと（幹事長）をやるMotivationは何ですか!?」に対して、何と答えたでしょうか?それは先生方のご想像にお任せをさせて頂きたいと思います。

弁理士同友会幹事長在任中、粕川幹事長、塩野谷副幹事長、絹谷副幹事長、笹川副幹事長、各委員会の先生方をはじめとする、弁理士連合クラブの会員の先生方には誠にお世話になりました。また、岸本幹事長をはじめと致します弁理士クラブの先生方にはこの一年で益々お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

弁理士連合クラブの重要性に触れた1年



弁理士クラブ 幹事長
岸本　達人

平成29年度弁理士クラブ幹事長を務めました岸本達人です。

弁理士連合クラブの役員及び委員の皆様、本年度の弁理士連合クラブの活動にご尽力されまして大変有難うございました。特に、粕川連合クラブ幹事長をはじめ、笹川副幹事長、塩野谷副幹事長、絹谷副幹事長の皆様におかれましては、執行部の中心となり他会派との難しいお付き合いを含め大変お忙しい一年を過ごされたことと存じます。弁理士クラブ幹事長として心より感謝申し上げます。

昨年度の会長選では、弁理士クラブから擁立した永井義久会員を弁理士連合クラブにおいてもご推薦いただき熾烈な選挙戦を繰り広げましたが、惜しくも当選には至りませんでした。その節の弁理士連合クラブそして弁理士同友会の皆様からいただいた力強いご支援とご協力に、本年度幹事長である私も感謝の念に堪えません。その昨年度の会長選で得票数が僅差だったこともあるのでしょうが、本年度の前半は八派十派の幹事長会合が頻繁に開催されたと感じております。弁理士連合クラブが、三派の一角として他会派と精力的にお付き合いし、調整を図られた努力の一端が垣間見えたと思います。

そして本年度実施された平成30年度役員定時選挙では、告示期間中、副会長選の立候補者数が定数を超え投票選挙になるかもしれない事態となりましたが、粕川幹事長をはじめとした弁理士連合クラブ選挙関係者が三派間の調整にご尽力いただいた結果、投票選挙を回避することができました。おかげさまで本年度、弁理士クラブ所属の候補者が全て当選を果たすことができ安堵しました。私はこのことを経験し、三派の一角を占める弁理士連合クラブの存在意義を痛切に感じました。

今回の選挙で弁理士クラブが擁立し当選した副会長候補者の黒田勇治会員、常議員候補者（4名）の渡邉一平会員、奥野彰彦会員、小林恵美子会員、安部誠会員につきましては、次年度弁理士会で活躍するに当たり、弁理士連合クラブからの多大なご支援をいただきますようお願い申し上げます。

本年度は会長選挙がない年でしたが、そのかわり創立周年イベントが多い年になりました。弁理士連合クラブ創立30周年記念式典・祝賀会が、11月30日に第一ホテル東京（新橋）で開催され、私も出席いたしました。記念式典は極めて荘厳であり、祝賀会は盛況であり、本年度の弁理士連合クラブの主要イベントを成功させるために実行委員会の皆様は相当の労力と神経を使われたことと存じます。

また親睦旅行会は、9月9日－10日に静岡県舘山寺に行きました。2日目のバスツアー（私は毎回バスツアー）は、龍潭寺、うなぎパイファクトリー、スズキ歴史館を巡り、昼食は藤田という有名店でうな重を食しました。スズキ歴史館は、なかなか興味深いものでした。企画委員会の皆様どうもありがとうございました。

この1年間、私は弁理士クラブ幹事長として弁理士連合クラブに係わったことで、弁理士連合クラブが他会派との付き合い、特に選挙での調整に重要な役割を果たしていることを実感しました。今まで理解していたよりも肌身で感じたという印象です。また、そのような重要な会派であるにもかかわらず、弁理士会や会派の活動に興味がない弁理士が増え、一部の会員に負荷が集中している現状をどのように解決していけばよいのか、これからも考えていきます。

最後になりましたが、冒頭でふれた弁理士連合クラブの役員、委員の皆様のみならず、髙下幹事長をはじめとする同友会の先生方にも多大なご支援、ご協力を賜り、私の弁理士クラブ幹事長の任務を全うできましたことを深く感謝申し上げます。



連合が支える日本弁理士会

日本弁理士会 副会長
本田　淳

弁理士連合クラブ所属の日本弁理士会副会長の本田淳です。

本年度、日本弁理士会（以下「弁理士会」）では、昨年度までの弁理士知財キャラバンによる知財コンサルを継続させつつ、さらに「知財広め隊」をスタートさせました。2年間で全国100箇所を目指すもので、今年7月の福島セミナーを皮切りに、ほぼ毎週、全国いずれかの都道府県で「知財広め隊」セミナーが行われています。二部構成で、第1部の知財講演会と、第2部の交流会とからなり、主に中小企業の経営者に知財の活用例を認識していただくとともに、地元の弁理士との交流を提供するものです。

さて、私の主な担当は、広報センターと会員規律となりますが、多くの弁理士連合クラブの会員に支えられておりますことを、あらためて感謝申し上げます。

【広報センター】

石川憲センター長のもと、数々の広報活動を精力的に行っていただいています。梶副会長による記者説明会『「AI で弁理士が失業」に異議「そんなに単純な仕事じゃない」』（2017年11月15日開催）は、Yahoo! ニュースに取り上げられ、多くのコメントが寄せられて注目を浴びました。執行理事は、弁理士会の記者会見制度を長年育ててきた井澤幹先生です。広報センターでは約十年ぶりにポスターを作るとともに、漫画『「閃き（ひらめき）の番人」―弁理士ジョージの事件簿―』の連載を開始しました。この漫画は、中小企業の経営者だけでなく学生も楽しみながら知的財産権及び弁理士について知ることができるもので、毎月、弁理士会HPにアップしており、今後も随時アップしていきます。（http://www.jpaa.or.jp/comic/）

鈴木知先生には、広報戦略の柱を定めるためのWGの座長をしていただいており、会員弁理士の様々な要望・期待を把握するためのインナー調査や、社会における弁理士及び知財制度をとりまく環境を調査するアウター調査に基づいた広報戦略の策定を進めています。

【意匠委員会】

谷口登委員長のもと、分割出願に関連して一意匠や組物の意匠の研究を行うとともに、使いやすい関連意匠制度も検討いただいています。諸外国との連携では、ハーグ条約のQ&Aの拡充や、優先権の同一性について調査研究しています。審判決例が少ない中、分析が難しいですが、意匠の侵害場面における寄与率や、意匠制度をユーザーフレンドリーにするための図面要件の緩和策も検討いただいています。

【特許制度運用協議委員会】

対庁協議事項について、上期と下期で年2回、会員アンケートを行い、特許庁の関係部門と協議し、会員に報告しています。電子手続の出願ソフトの更新についても、「ペーパーレスニュース」にてお届けしています。副委員長の齋藤美晴先生は eラーニングの講師を勤めていただきました。

【知財訴訟委員会】

知財高裁、東京地裁との意見交換会を毎年継続するとともに、奥野彰彦部会長には、裁判の損害賠償額の高額化を議論するための土台として、日本におけるパテントトロールの調査や、無効理由の抗弁について分析していただいています。eラーニングや研修フェスティバルにおける講師派遣も引き続き行っていきます。

【綱紀委員会】

会員について会則第49条第1項に該当する事実があるか否かを調査し、その結果を報告することを

主な職務としています。青山仁先生には、綱紀委員会で昨年度から継続審議している案件が多いことから、副会長職に続けて執行理事に就任いただきました。

【審査委員会】

会則第49条第1項（会員の処分）及び第54条の2第6項（継続研修義務不履行者に対する処分の特例）に係る事案について審査し、決議を行うことを職務としています。平成28年度委員長の天野泉先生には、昨年度から継続の案件を引き続き審査いただきました。

【東海支部】

昨年度の東海支部開設20周年に続き、今年度は21年目の知的財産セミナー2018「オリジン起業と地域を支える知的財産」を東海支部開設記念の平成30年1月30日に行います。名古屋観光ホテルに定員600名でお集まりいただきます。東海支部は、知財広め隊の先例ともいえる「知的財産経営サロン」や、会長推薦制度に先駆けた支部長指名制度に実績があり、「東海モデル」として創意工夫して活動しています。

【紛議調停委員会】

山本彰司委員長のもと、会則第127条に定める紛議の調停について、厳正に審理いただいています。本年度は回数が多くなっておりますが、活発に議論されています。

【最後に】

3月末の任期まであと少しですが、このように多くの弁理士連合クラブの方々とともに、最後まで頑張って参ります。よろしくお願い申し上げます。

（本原稿は、平成29年12月の執筆時点の内容に基づきます）

会務運営の難しさ



日本弁理士会 副会長
梶　俊和

1．はじめに

弁理士連合クラブの会員の皆様におかれましては、日頃から会務へのご支援・ご協力誠にありがとうございます。弁理士連合クラブのご推薦を頂き、副会長に就任してからはや8ヶ月ほどが経過しました（本誌原稿執筆時点）。長い道のりだったようにも思いますし、慌ただしくしている間にあっという間に過ぎたような気もします。

2．担当会務

本年度の私の主な担当会務は、総合政策企画運営委員会、特許委員会、業務対策委員会、情報企画委員会、経営基盤強化委員会の5つの委員会と、知財戦略本部対応ワーキンググループ（以下、WG）、タイムスタンプWG、第4次産業革命対応WG、広報戦略策定WGの4つのWG及び北海道支部となります。関連して、知的財産戦略本部会合、産業構造審議会特許制度小委員会、同不正競争防止小委員会の対応を担当しています。

【総合政策企画運営委員会】

知的財産推進計画策定における提言内容の取りまとめの他、委員会への出席率向のための施策の検討、委員の途中辞任時の取扱いについての検討、弁理士会の費用助成を伴う中小企業支援の見直し、インターン制度の運営を行っています。

【特許委員会】

特許及び実用新案に関する実務内容の調査・研究・提言を行う委員会です。本年度は、特許制度の日本と諸外国との比較についての会員向けアンケート及びその分析、審判決の動向調査と実務への応用の検討、第4次産業革命関連技術の保護についての検討などを主として行っております。

【業務対策委員会】

職域関連事項やいわゆる非弁対応が本委員会の職責です。対応事案は多く、本委員会の活動は重要性を増しています。本年度は、広報センターのご協力のもと、非弁に関する広報にも力を入れました（非弁防止ポスターの作成、漫画「閃きの番人」への非弁エピソード導入）。また、弁理士法75条の「報酬を得て」要件についても再度検討を行いました。

【情報企画委員会】

ITインフラ整備と情報整備が担当です。本年度は、いわゆるICカード型の弁理士会員証の導入の是非の検討を行いました。また、役員室へのテレビ会議システムの導入、インターネット会議システムの選定についても検討しました。弁理士ナビや電子フォーラムの管理も本委員会の仕事です。事務局のインフラ変更もたまたま本年度事業となり、思いの外仕事が多かった気がします。

【経営基盤強化委員会】

特許事務所の経営基盤強化、競争力向上のための検討、つまり特許事務所を「食える体質に導く」ための直接的な検討を行います。経営分析ソフトの改良と周知、経営相談員の派遣トライアル事業、会員マッチングセミナー開催を行っています。適正な弁理士報酬額と適正な業務品質のバランスを検討すべく「適正な弁理士業務の提供についての検討」についても検討しています。

なお、担当支部及び各WGの活動については、ご報告を割愛致しますが、特許法や不正競争防止法などの法改正の最前線の議論に参加させて頂け、そのシーンを垣間見る経験をさせて頂けたのは貴重な体験でした。

3．おわりに

日本弁理士会の会務は多岐にわたり膨大です。会員問題、知財活性化、対庁活動、対外的活動など、任期中にも対応すべき事案がどんどん増えていきま

すが、やはり会務のスリム化はとても重要だと思います。全方位外交でなく、会務の選択と集中を行って、必要な課題に必要な人員と予算を重点的に割り当てていくことで、今の難局を乗り越えて行くべきではないかと感じます。

個人的には、広報センター主催の記者説明会で行った「AIと弁理士業務」というプレゼンが思いがけずヤフーニュースに取り上げられたことは思い出深く、弁理士の知名度向上という観点で広報活動に貢献できたのではと嬉しく思っています。

残すところあと2ヶ月と少し、気を引き締めて残りの会務にあたりたいと思いますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い致します。

（本原稿は、平成29年12月の執筆時点の内容に基づきます）



一年間
ありがとうございました

弁理士連合クラブ 副幹事長
塩野谷　英城

弁理士連合クラブ平成29年度の副幹事長を務めました塩野谷です。在任中、当クラブ会員の皆様には大変お世話になり、有難うございました。会務報告といいますか、紙面を借りてお礼を申し上げたいと思います。

ちょうど酉年の年男のときに、粕川執行部の一員として船に乗ることになりました。粕川敏夫先生とは、副会長の同期でしたので、私は当初からリラックスして務めさせて頂きました。また、元気はつらつな笹川拓先生と、釣り仲間の絹谷晴久先生とも一緒の執行部となり、一年間楽しく活動させて頂きました。皆さんお疲れ様でした。

私の担当は、政策委員会、役員協議委員会および調整委員会でした。政策関係では、我々新執行部が動き始めてすぐに三派説明会があり、処分前公表制度や預り金の分別管理等について当クラブの意見を1月中に集約する必要がありました。

政策委員長をお願いした船津暢宏先生には、常に積極的に動いて頂き、1 年を通じて数度にわたり当クラブの意見をまとめて頂きました。また、政策勉強会や新旧役員意見交換会も企画して頂きました。ありがとうございました。

ご承知の先生方も多いと思いますが、日本弁理士会の「預り金の取扱いに関するガイドライン」が、平成29年10月1日付けで施行されています。預り金の保管方法、預り証の発行、預り金の記録管理、流用の禁止およびクライアントへの収支報告について規定されていますので、まだ確認されていない先生がいらっしゃいましたら、一度確認されることをお勧めいたします。

次に、役員協議委員会ですが、石川憲先生に委員長をお願いしましたので、私は何の不安もなく役員選挙を迎えることができました。石川先生ありがとうございました。

選挙間近になって、常議員か副会長が投票になるかもしれないという情報も入りましたが、最終的には投票選挙は回避され、副会長候補の黒田勇治先生および田辺恵先生をはじめ、当クラブ推薦の全候補者が無事に当選となりました。当選された皆様には、ぜひ弁理士連合クラブの代表として存在感を示して頂きたいと思います。ご活躍をお祈りしております。

なお、今期は当クラブ内での調整はありませんでした。

さて、当選人の決定後は、例年であれば当選祝賀会の準備が主になります。しかし、今期は当クラブの30周年記念行事が決まっていましたので、役員当選祝賀会の開催に代えて、30周年記念祝賀会の中で、選挙報告の時間を頂くことになりました。

このため、30周年記念祝賀会の打合せにも何度か出させて頂きましたが、10年に一度のイベントということもあり、委員の皆さんの準備は念入りに行われていました。結果、とても良い周年行事になったと思います。マジックも面白かった。委員の先生方、大変お疲れ様でした。

また、各派の旅行会や祝賀会等にもお招きをいただき、特別な時間を過ごさせて頂きました。日弁の先生方、西弁の先生方、東海協議会の先生方、誠に有難うございました。

30周年記念祝賀会の閉会でもお願いをしましたが、次の10年も、変わらぬお付き合いをお願いできればと思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

一年を振り返って



弁理士連合クラブ 副幹事長
絹谷　晴久

粕川敏夫幹事長のもと、平成29年度弁理士連合クラブ副幹事長を務めさせて頂きました弁理士クラブに所属する絹谷晴久です。機関誌の発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。本年度の最重要活動項目である日本弁理士会役員定時選挙においては、弁理士連合クラブ推薦の立候補者の全員が無事当選され、ホッといたしました。弁理士連合クラブ会員のご支援、ご協力に深く感謝いたします。

また、今年は弁理士連合クラブ創立30周年の年にあたり、渡邉敬介日本弁理士会会長、鈴木一永日本弁理士クラブ幹事長、清水義仁西日本弁理士クラブ幹事長ご臨席の下で記念式典、同祝賀会を盛大に挙行でき、又、会員の皆様には多数のご参加を頂き厚くお礼を申し上げます。

副幹事長としての私の担当は、企画委員会と研修委員会でした。順に各委員会の会務を紹介・報告させて頂きます。企画委員会の会務は、①連合クラブHP の内容更新及び維持運営、②旅行会の企画及び開催、③機関誌「連合」の発行、の3つです。とりわけ重要な会務となるのが旅行会の開催です。旅行会の開催にあたっては、昨年度の企画委員会担当副幹事長を務められた梶先生から、旅行会の参加人数不足に悩まされ動員に奔走されたと聞いておりましたので、私も動員に全力を尽くす覚悟を決めておりました。

幸いなことに「舘山寺温泉山水館欣龍」で開催された今年の旅行会には、ご来賓を含めて70名以上の方々にご参加頂き、さほど動員することもなく開催できたことに安堵しております。旅行会の詳細は企画委員会報告に譲りますが、参加された皆様には塩分濃度が高く健康名湯として知られる舘山寺の温泉とお料理を存分に楽しんで頂けたのではないかと思います。

本年度の企画委員会は、笹野拓馬委員長（同友）のもと、熊井寛副委員長（弁ク）、權正英樹委員（弁ク）、瀧澤匡則委員（弁ク）、山下幸彦委員（同友）、川崎ひかり委員（同友）の6名で運営されています。企画委員会の皆さんには、旅行先の選定に始まり、当日の受付業務及び旅行会後の清算・報告に至るまでの長きに渡り多大なるご尽力を頂きました。この場を借りて改めて深く御礼申し上げます。また、旅行会にご参加頂きました来賓の皆様、弁理士連合クラブの会員の皆様にも改めて御礼申し上げます。

今年度の機関誌「連合」の編集については、弁理士連合クラブ30周年記念特集号とする関係で、企画委員会と弁理士連合クラブ30周年記念事業実行委員会とが共同で行うことになりました。なお、機関誌「連合」については、例年通り弁理士連合クラブ HP 上で掲載いたします。

研修委員会の会務は、連合クラブの旅行会において併催される研修会の企画及び実行です。今年は奥川勝利先生をお招きして「裁判例の読み方 ～効率よく裁判例を把握するために～」と題して研修を行って頂きました。研修の内容につきましては研修委員会報告に譲りますが、参加者からは高い評価を得たと聞いております。

研修の企画及び実行については、研修委員会の委員長を務めて頂いた伊藤信和先生（弁ク）に完全に任せっきりで、私がお手伝いすべきことは全くありませんでした。講師の選定から当日の運営まで完璧にこなされ、伊藤先生の会務運営能力には脱帽です。

最後になりますが、弁理士連合クラブの副幹事長としての役割を果たすことができましたのは、粕川敏夫幹事長、塩野谷英城副幹事長、笹川拓副幹事長、企画委員会の笹野拓馬委員長、研修委員会の伊藤信和委員長の他、各委員会の先生方並びに弁理士連合クラブの会員の方々の協力を頂いたからであり、ここに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

皆様に支えられての一年間



弁理士連合クラブ 副幹事長
笹川　拓

平成29年度、粕川敏夫幹事長の下、副幹事長を務めさせて頂きました笹川拓です。機関誌「連合」の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本年度、私は副幹事長として、総務委員会及び30周年記念事業実行委員会を担当させて頂きました。

本年度の総務委員会ですが、委員長は小野友彰先生にお願いし、会計担当の副委員長には今堀克彦先生に就任して頂きました。小野先生は、総会運営や日々の雑務に快く、かつ、着々とこなして頂き、今堀先生には滞りなく、正確な会計処理をして頂きました。両先生方のおかげで弁理士連合クラブの会務運営を滞りなく進めることができましたことを、心より感謝致します。また、委員である三苫貴織先生、笹野拓馬先生、須山英明先生のご尽力なくして、総務委員会の運営はできませんでした。本当にありがとうございました。総務委員会の先生方には30周年記念事業にもそのまま協力して頂き、例年になく、ミッションの多い一年間となったと思います。快くご対応して頂き、本当に助かりました。

次に、30周年記念事業実行委員会です。粕川敏夫先生から、昨年秋に副幹事長の打診を受け、これまでこのような大任を果たした経験など何もない私としては、本心としては不安しかありませんでした。特に、弁理士連合クラブ30周年事業という私にとって全く未知の事業の担当となり、正直、どのように事を進めてよいのか全く分かりませんでした。ご存知の通り、弁理士連合クラブは、弁理士クラブと弁理士同友会の連合体です。私のような若輩者がこの連合体の30周年記念事業という節目の事業を担当して良いのか不安でした。

しかしながら、副幹事長である私が頼りない分、周りの先生方の布陣は強力なものでした。実行委員長には青山仁先生、実行副委員長には永井義久先生、式典部会長には吉村俊一先生、祝賀会部会長には山川茂樹先生、記念誌部会長には松本直子先生、さらに実行委員には、弁理士クラブ及び弁理士同友会から選りすぐりの先生方に多くご担当頂き、強力かつ重厚な布陣が出来上がりました。

この強力な布陣が完成すると、後はどんどん段取りは進んでいくもので、私の不安は結果としては杞憂でした。会場選定（第一ホテル東京）、10年前の資料の収集等を行った昨年度の30周年記念事業準備委員会（粕川敏夫委員長）の準備作業にも大きく助けられ、4月の第1回実行委員会から何度も何度も議論を行いつつ、段取りを進めました。青山実行委員長の鮮やかな段取りには目を見張るものがあり、また周囲の経験豊富な先生方のご尽力により記念事業当日に向けてどんどん具体化していきました。その具体化にあたり、粕川幹事長、塩野谷副幹事長及び絹谷副幹事長の大きなサポートに助けて頂きました。

そして、運命の11月30日の記念式典及び祝賀会の当日、多くの先生方にご協力を頂き、何度も議論を重ね、長い間準備を行ってきた成果が結実し、無事に弁理士連合クラブ30周年記念式典及び記念祝賀会を終えることが出来ました。厳かな雰囲気の中、粛々と行われた記念式典では、これまで当クラブの支えてきた大先輩方への敬意と感謝の念を改めて抱くとともに、和やかな雰囲気で行われた記念祝賀会においては、ご来賓の皆様及び当クラブ会員のくつろぐ様に非常に安心致しました。また、記念祝賀会における余興のマジックでは裏方の私もステージ脇から、時間を忘れて楽しんでしまいました。

祝賀会が無事に終了した後に30周年事業関係者と行った2次会でのお酒は本当においしく飲むことが出来ました。これまでの疲れを吹き飛ばす美味しいお酒となりました。酔いが回るのも早かったです。30周年

記念事業にあたり、多くの経験豊富な先輩方の見事な差配を直に見ることができ、大きな経験となりました。実行委員長の青山先生を始めとしてご協力頂きました全ての先生方に御礼申し上げます。

最後になりますが、弁理士連合クラブの副幹事長として、一年間貴重な経験をすることができました。若輩者の私が弁理士連合クラブ副幹事長の大役を何とか最後まで務めることができましたのは、粕川敏夫幹事長、塩野谷英城副幹事長、絹谷晴久副幹事長、総務委員会の小野友彰委員長、30周年記念事業実行委員会の青山仁委員長、総務委員会及び30周年事業実行委員会の皆様、さらには弁理士連合クラブの会員の方々の御協力があったからであり、ここに深く御礼申し上げます。一年間ありがとうございました。

平成29年度弁理士連合クラブのあゆみ

総務委員会 委員長
小野　友彰

平成29年（2017.1.1～2017.12.31）

1月25日　第1回政策委員会
　　預り金に関する規則改正等について
1月31日　機関誌『連合』第27号発行
1月31日　第１回総務委員会　新旧引き継ぎ
2月1日　八派（三派）幹事長会
2月21日　日本弁理士会執行部からの三派向け議案説明会
　　預り金に関する規則改正等について
2月24日　第1回幹事会、第1回定時総会、懇親会
　　事業報告、決算、事業計画、予算、人事報告等
3月10日　東海協議会／慰労・激励会
　　西日本弁理士クラブ／慰労・激励会
3月14日　日本弁理士会臨時総会
3月17日　会派役員及び弁政連正副会長による懇談会
3月29日　第1回企画委員会
　　旅行会の企画検討
4月12日　第１回連合30周年記念事業実行委員会
　　記念事業に向けてのスケジュール説明
　　及び部会分け
4月18日　日本弁理士会執行部からの総会前の三派向け議案説明
　　定時総会前の議案説明
5月11日　第１回役員協議委員会
　　30周年祝賀会と当選祝賀会の合同開催について検討
5月12日　企画委員会
　　旅行会下見（静岡県・浜松）
　　旅行会に関するホテル・観光先の選定
5月17日　第２回連合30周年記念事業実行委員会
　　各部会での検討及び進捗報告
5月26日　八派（三派）幹事長会
5月26日　日本弁理士会定期総会
6月6日　連合30周年記念事業実行委員会
　　第一ホテルの下見
6月17日　日本弁理士クラブ旅行会（新潟・糸魚川）
7月5日　連合政策勉強会
　　梶副会長からの産構審等での最近の動向に関する報告と質疑
7月8日　西日本弁理士クラブ旅行会（徳島・鳴門）
7月12日　第3回連合30周年記念事業実行委員会
　　各部会での検討及び進捗報告
9月1日　日本弁理士クラブ創立70周年記念祝賀会
9月6日　第4回連合30周年記念事業実行委員会
　　各部会での検討及び進捗報告
9月7日　第2回幹事会、第２回定時総会
　　平成30年度日本弁理士会役員（副会長・監事・常議員）候補予定者の推薦の件
9月9日　連合旅行会（静岡・浜松舘山寺温泉）
9月11日　立候補受付・選挙運動開始
9月15日　候補者確定・当選人決定
　　無投票当選確定
10月10日　弁理士クラブ創立70周年記念式典及び記念祝賀会
10月18日　第5回連合30周年記念事業実行委員会
　　各部会での検討、進捗報告及び全体の流れの確認
11月７日　第3回幹事会、第１回臨時総会
　　平成30年度弁理士連合クラブ役員の選任について承認を求める件
11月15日　日本弁理士会臨時総会前の議案説明会
11月16日　新旧副会長意見交換会
11月28日　日本弁理士クラブ当選祝賀会
11月30日　連合30周年記念事業（記念式典及び記念祝賀会）及び連合当選祝賀会（第一ホテル東京 新橋）
12月21日　三派幹事長会
12月21日　日本弁理士会臨時総会

総務委員会

総務委員会 委員長
小野　友彰

1．委員会の構成

委員長	小野	友彰（同友）
副委員長	今掘	克彦（弁ク）
委　　員	須山	英明（弁ク）
	笹野	拓馬（同友）
	三苫	貴織（弁ク）
担当副幹事長	笹川	拓（同友）

2．職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

3．諮問事項

（1）総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行

（2）特に定時総会の開催時期を中心として本会の会則等改正の審議及び答申

4．活動報告

（1）第1回幹事会／第1回定時総会

開催日時　平成29年2月24日（金）
幹事会　　18：00～
定時総会　18：30～
場　所　　弁理士会館
議　案

1 第1号議案（趣旨説明：塩野谷 英城　副幹事長）
平成28年度弁理士連合クラブ事業報告の承認を求める件
2 第2号議案（趣旨説明：絹谷 晴久　副幹事長）
平成28年度弁理士連合クラブ会計報告の承認を求める件
3 第3号議案（趣旨説明：粕川 敏夫　幹事長）
平成29年度弁理士連合クラブ事業計画の承認を求める件
4 第4号議案（趣旨説明：笹川 拓　副幹事長）
平成29年度弁理士連合クラブ予算の承認を求める件
5 報告事項（報告者：粕川 敏夫 幹事長）
平成29年度弁理士連合クラブ役員、委員等選任に関する報告
6 その他

（2）懇親会

開催日時　平成29年2月24日（金）
19：15～21：00
場　所　霞山会館
司　会　総務委員長　小野 友彰
式次第

1 開会の辞　塩野谷英城（副幹事長）
2 幹事長挨拶 粕川 敏夫（幹事長）
3 ご挨拶　日本弁理士会副会長　齋藤 美晴 殿
4 乾杯　相談役　古谷 史旺 殿

＜歓談＞

5 石川 憲前幹事長への感謝状・記念品の贈呈
粕川 敏夫（幹事長）
6 お礼の辞　前幹事長　石川 憲 殿
7 ご挨拶　弁理士クラブ幹事長　岸本 達人 殿
弁理士同友会幹事長　髙下 雅弘 殿
8 日本弁理士会執行役員会の会務報告
日本弁理士会副会長　青山 仁 殿

＜歓談＞

9 閉会の辞　絹谷 晴久（副幹事長）



(3) 第2回幹事会／第2回定時総会
開催日時　平成29年9月7日（木）
幹事会　18：00～
定時総会　18：30～
場　所　弁理士会館
議　案
1 第1号議案（趣旨説明：塩野谷 英城　副幹事長）
平成30年度日本弁理士会役員（副会長・監事・常議員）候補予定者の推薦について承認を求める件
2 報告事項1（報告者：笹川 拓　副幹事長）
平成29年度弁理士連合クラブ会務中間報告
3 報告事項2（報告者：笹川 拓　副幹事長）
平成29年度弁理士連合クラブ会計中間報告
4 その他
役員選挙候補予定者（副会長・監事・常議員）からの挨拶

(4) 第3回幹事会／第1回臨時総会
開催日時　平成29年11月7日（火）
幹事会　18：00～
臨時総会　18：15～
場　所　弁理士会館
議　案
1 第1号議案（趣旨説明：粕川 敏夫　幹事長）
平成30年度弁理士連合クラブ役員の選任について承認を求める件
2 報告事項（報告者：笹川 拓　副幹事長）
平成29年度弁理士連合クラブ会計・会務報告

以　上

政策委員会

政策委員会 委員長
船津　暢宏

1．委員会の構成（19名）

委員長　船津　暢宏（弁ク）
副委員長　古谷　史旺（同友）
委　員
(1) 弁理士同友会　委員（6名）
坂口　信昭
伊賀　誠司
関　昌充
田辺　恵
茂木　康彦
松本　直子
(2) 弁理士クラブ　委員（11名）
伊藤　進
中島　淳
永井　義久
山本　晃司
永岡　重幸
今堀　克彦
三輪　浩誉
須山　英明
奥川　勝利
小田原敬一
富澤　正
担当副幹事長　塩野谷英城（弁ク）

2．職務権限

政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。

3．諮問事項

(1) 常議員会、総会議案への対応
(2) 本会からの意見募集への対応
(3) 中長期的テーマの継続検討

平成29年度、弁理士連合クラブの粕川敏夫幹事長の下、政策委員長を務めさせて頂きました船津暢宏です。

弁理士連合クラブの政策委員会の活動を報告させて頂きます。

昨年の日本弁理士会の会長選挙において、弁理士連合クラブから永井義久先生を候補者として推薦し、弁理士連合クラブ内で政策検討を重ねて、選挙活動にかかわった諸先生方には、弁理士業界における危機的状況、それに対するダイナミックな政策について深い見識と洞察力が養われたのではないかと思います。

そのような諸先生方に支えられながら、政策委員会では、主に、日本弁理士会の政策について検討及び提言を行いました。以下、1年間の活動内容を簡単に報告します。但し、紙面の関係から主に感想を書かせて頂きます。

＜活動報告＞

(1) 処分前公表、知的財産経営センター、預り金分別管理・利益相反規定の改正

上記事項について議案説明会が1月に開催され、意見書を提出しました。いずれも重い内容ではあるものの、十分に審議されていない印象でありましたので、問題点を指摘して充分なる検討を要求しました。

(2) 特許庁へ意見提出

3月に「我が国の知財紛争処理システムの機能強化に向けて（案）への意見」を特許庁に提出しました。意見書では、より踏み込んだ議論を要望しました。

(3) 事業報告・決算、事業計画・予算

5月に日本弁理士会の総会が開催され、弁理士連合クラブの関係者から様々な意見が述べられました。

(4) 政策勉強会

7月に政策勉強会を開催し、産構審の動向等を梶副会長から報告頂き、質疑応答が為されました。

(5) 新旧役員意見交換会

11月に現副会長の本田先生、梶先生が、副会長の活動内容を報告され、次年度副会長の黒田先生、田辺先生との間で意見交換が為されました。また、政策に関心のある先生方も交えて活発な質疑、意見交換が行われました。

＜むすび＞

関東支部神奈川委員会のメンバーとして、知財キャラバンと知財広め隊を体験してみて、日本弁理士会の目玉の政策では、企業と深くかかわって知財を再興させるには十分ではないと感じております。弁理士連合クラブは、知財の活性化のための政策を重視し、弁理士の未来を真剣に考えて行く会派であり続けることを切に期待しております。

政策委員会の先生方、ご協力並びにご支援頂いた先生方、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

企画委員会

企画委員会 委員長
笹野　拓馬

1．委員会の構成

委員長	笹野　拓馬（同友）
副委員長	熊井　　寛（弁ク）
委　　員	權正　英樹（弁ク）
	瀧澤　匡則（弁ク）
	山下　幸彦（同友）
	川崎ひかり（同友）
担当副幹事長	絹谷　晴久（弁ク）

2．職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。

3．諮問事項

(1) 旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行
(2) 他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行
(3) 機関誌の発行
(4) 弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の立案及びその実行
(5) 弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

4．活動報告

(1) 第1回企画委員会
日時：平成29年3月29日
場所：弁理士会館地下1階会議室
議題：旅行会の企画検討、ホームページの管理について

(2) 第2回企画委員会
日時：平成29年5月12日～13日
場所：舘山寺温泉（山水館欣龍）及び浜松周辺
議題：旅行会の下見、現地での各施設、設備、段取り等の確認

(3) 第3回企画委員会
日時：平成29年10月18日
場所：弁理士会館2階会議室
議題：機関誌「連合」（30周年記念特集号）の段取り等の確認

(4) 平成29年度弁理士連合クラブ旅行会の実施
平成29年9月9日（土）～10日（日）にかけて舘山寺温泉「山水館欣龍」において開催した。研修講師1名を含め72名もの先生方の参加を得て盛大に開催された。

(5) 平成29年度弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会
例年通り、旅行会の2日目に「浜松カントリークラブ」において弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会を開催。天候にも恵まれ、4組16名の参加を得た。

(6) 平成29年度弁理士連合クラブ旅行会観光
昨年に引き続き、今年もゴルフ大会とは別に観光を手配した。20名の先生方が参加され、チャーターバスを使用して、大河ドラマの舞台となった「龍潭寺」を訪れ、その後は、「日本を支えたモノづくり見学」と題して、「うなぎパイファクトリー」、「スズキ歴史館」を見学した。

(7) ホームページの維持、管理
弁理士連合クラブのホームページのコンテンツ（幹事長挨拶、組織図、年間行事）のアップデートを行った。また、日本弁理士会役員選挙に向けて候補者の広報掲載の準備を進めたが、無選挙となったため、候補者広報のホームページ掲載は行わなかった、

(8) 機関紙の発行
平成30年1月末に発行予定。
なお、本年度の機関誌は、弁理士連合クラブ30周年記念特集号となるため、ホームページを通じて行う他、紙媒体での発行も行う予定。

調整委員会

調整委員会 委員長
中川　裕幸

1．委員会の構成

委員長	中川　裕幸（弁ク）
副委員長	丸山　英一（同友）
委　員	小川　眞一（同友）
	岸本　達人（弁ク）
	高下　雅弘（同友）

2．活動報告

調整委員会は、弁理士連合クラブから、日本弁理士会の役員を送り出すに際して、弁理士同友会、弁理士クラブ間の円滑な意思疎通を図る委員会です。今年度は、日本弁理士会の会長選挙が無い年でもありましたので、調整が必要な事態は発生しませんでした。

将来的には、弁理士連合クラブから日本弁理士会の会長候補を出さなければなりません。その際には、調整委員会で円滑な意思疎通を図り、もって弁理士連合クラブとしての意思統一がなされるものと思われます。

役員協議委員会

役員協議委員会 委員長
石川　　憲

1．委員会の構成

委員長	石川　　憲（同友）
副委員長	岸本　達人（弁ク）
委　　員	大渕美千栄（弁ク）
	藤井　稔也（同友）
	藤浪　一郎（同友）
	小林　　功（弁ク）
担当副幹事長	塩野谷英城（弁ク）

2．職務権限

日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙活動の統括を行う。

3．委嘱事項

（1）平成30年度日本弁理士会役員定時選挙への対応
（2）選挙当選祝賀会の企画及び実行

4．活動報告

（1）5月11日

本年度の選挙情勢、選挙日程、当選祝賀会について検討を行った。本年度は、連合30周年記念事業として記念祝賀会が開催される予定であり、記念祝賀会の開催日が11月下旬とされている。例年、当選祝賀会も同じく11月下旬に開催されることもあり、記念祝賀会にて当選者の紹介を行い、当選祝賀会については開催を行わないこととした。

（2）8月29日

午後3時から日本弁理士会選挙管理委員会が開催する選挙説明会に役員協議委員長が出席し、選挙管理委員会から説明を聞くとともにガイドラインその他の資料を入手した。

（3）9月11日

各会派ごとに立候補届を日本弁理士会に提出。選挙活動を開始。

（4）9月15日

5時過ぎに立候補者数と定員が一致していることを確認。選挙が回避されて、弁理士連合クラブが推薦した立候補者全員の当選が確定した。

（5）11月30日

第一ホテル東京にて開催された30周年記念祝賀会にて選挙報告と当選者の紹介を行った。

（6）その他、役員協議委員長は、30周年記念事業準備委員会の会合に参加し、記念祝賀会の準備を行った。

本年度は、会長選挙が行われない年であり、役員協議委員会としては比較的平穏な年であった。副会長選挙と常議員選挙の可能性もあったが、3派の協力のもと、選挙が回避され、弁理士連合クラブが推薦した立候補者は全員が無事に当選することができた。

5．弁理士連合クラブ推薦の当選者

副会長	黒田　勇治（弁ク）
	田辺　　恵（同友）
監　事	大塚　明博（同友）
常議員（関東選挙区）	渡邉　一平（弁ク）
	高田　大輔（同友）
	奥野　彰彦（弁ク）
	小林恵美子（弁ク）
	茂木　康彦（同友）
	坂口吉之助（同友）
常議員（東海選挙区）	安部　　誠（弁ク）

研修委員会

研修委員会 委員長
伊藤　信和

1．委員会の構成

委 員 長　　伊藤　信和（弁ク）
副委員長　　横田　香澄（同友）
委　　員　　柿本　邦夫（弁ク）
　　中川　裕幸（弁ク）
担当副幹事長　絹谷　晴久（弁ク）

2．職務権限

研修委員会は、弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修を行い、会員の啓蒙を行う。

3．諮問事項

（1）弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修の開催（弁理士としてのスキルアップ用研修の開催）
（2）その他、必要があれば、連合会員にとって有益な研修の開催

4．活動報告

本年度は、静岡県浜松市の舘山寺温泉で行われた平成29年度弁理士連合クラブ旅行会において、下記のとおり研修会を開催しました。

・「裁判例の読み方～効率よく裁判例を把握するために～」
日時：平成29年9月9日（土）15：00～16：10
※旅行会初日
講師：奥川勝利先生（黒田国際特許事務所）
会場：舘山寺温泉 山水館欣龍
（静岡県浜松市西区舘山寺町）
申込数：33名
内容：

日本弁理士会継続研修「一年間の知的財産判決を振り返る」の講師を毎年続けられておられる、判例に造詣の深い奥川勝利先生を講師としてお招きし、効率よく裁判例を把握するためにどのように判例を読んでいくかについてご講演頂きました。

まず講義の前半では、弁理士業務において、説得力のある主張を展開するスキルは重要であり、審査基準の把握だけでは不十分で、判決文の論理構成や判断手法などは実務において大変重要なことであることをご説明していただきました。そして、判決例をどうやって効率よく読み進めるかのテクニックをご説明して頂きました。

講義の後半では、一つの判決を取り上げ、まず「事件の種類」の確認、「当事者」の確認、「結論」と「請求内容」の確認、「対象となる発明等」の確認、「争点（取消事由）」の確認、及び「裁判所の判断」の確認を、実際にその判例を確認しながら解説して頂きました。

また、研修会後の旅行会懇親会には、奥川勝利先生にもご参加頂き、直接お話しをうかがえる機会をもつことができました。

5．おわりに

日本弁理士の活動でご多忙にも拘わらず、研修会の講師を快く引き受けて頂いた奥川勝利先生に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

浜名湖のほとりにて

企画委員長
笹野　拓馬

今年も恒例の旅行会が、9月9日（土）～10日（日）に舘山寺温泉「山水館欣龍」で開催されました。舘山寺温泉は、浜名湖のほとりにあり、温泉街北側の舘山にある曹洞宗舘山寺から名付けられた温泉です。意外にも開湯は昭和 33 年と比較的新しく、塩分濃度が高い温泉として知られています。舘山寺温泉までは、JR浜松駅から無料シャトルバスで約50分、しかも、無料シャトルバスは予約制で一日4本程度と少なく、当日、ホテルの方に確認した際には予約されている先生がほとんどいなかったため、宴会開始までに参加の先生方にお越しいただけるか大いに心配しましたが、無事にお集まりいただくことができ、そのような心配は杞憂に終わりました。

さて、旅行会は、例年通り、研修会で幕を開けます。研修会では、弁理士クラブの奥川勝利先生から「裁判例の読み方～効率よく裁判例を把握するために～」についてご講演いただきました。講義の前半では判決文を読むことのメリットやそのテクニックをご説明いただき、後半の講義では、一つの判決文を取り上げ、前半の内容を確認しながら解説いただきました。受付等の対応もあり、私は参加できませんでしたが、大変興味深いご講義だったと伺いました。多くの先生方にご参加いただき、参加者の方々の関心も随分高かったようです。







研修会後は、宴会前の写真撮影まで、舘山寺や浜名湖周辺の散策、温泉にゆっくり浸かって日ごろの疲れを癒すなど、思い思いの時間を過ごしていただきました。

写真撮影は、ステージが小さめで、かなりぎゅうぎゅう詰めでの撮影となってしまいましたが、皆様のご協力により、スムーズに行うことができました。

写真撮影の後は、いよいよ宴会のスタートです。まずは、弁理士連合クラブ幹事長の粕川敏夫先生によるご挨拶に始まり、ご来賓の日本弁理士会会長渡邉敬介先生、日本弁理士クラブ幹事長鈴木一永先生、西日本弁理士クラブ幹事長清水義仁先生からご挨拶を頂戴しました。そして乾杯は、地元出身の弁理士連合クラブ相談役中島淳先生にご発声いただき、しかも青春時代のエピソードもご披露いただきました。

乾杯で喉を潤した後は、コンパニオンさんも交えた大宴会の開始です。今年は特に余興は準備していませんでしたが、各会派、年代関係なく、和気藹々とした賑やかな宴となり、あっという間に中締めの時間になりました。

食事については、旅館の眼前に広がる浜名湖や、近くの漁場の遠州灘、三河湾など地元の恵みを生かした素材で、旅館こだわりの様々な工夫を凝らした料理に舌鼓を打ち、満足いただけたように思います。

宴会の中締めは、弁理士連合クラブ相談役の石川憲先生にお言葉をいただき、最後の閉会の辞は弁理士連合クラブ副幹事長絹谷晴久先生に行っていただきました。















上段左から
弁理士連合クラブ幹事長　粕川敏夫先生
日本弁理士会会長　渡邉敬介先生
日本弁理士クラブ幹事長　鈴木一永先生
西日本弁理士クラブ幹事長　清水義仁先生
下段左から
弁理士連合クラブ相談役　中島淳先生
弁理士連合クラブ相談役　石川憲先生
弁理士連合クラブ副幹事長　絹谷晴久先生



宴会の後の二次会は、館内のスナックに移動し、カラオケ大会となりました。定員が50名で、当初は二次会参加者が少なかったらどうしようかと不安になっていましたが、いざ、会場に行ってみれば、溢れんばかりの満杯で、カラオケは、踊りも飛び出すなど大盛況でした。

二次会は22時で終了となりましたが、その後は三次会です。三次会用に幹事部屋を開放し、連合の参加者のみならず、日本弁理士会会長の渡邉敬介先生をはじめ来賓の多くの先生方にもご参加いただきました。三次会用に準備した酒、つまみはあっという間に無くなり、深夜までいろいろと語り合い、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

また、ラーメンで締めたいという先生方は、旅館の向かいにある食事処で、ラーメンのほかB級グルメの浜松餃子などを食すなど、各々、楽しい時間を過ごしているようでした。

二日目は、観光組、ゴルフ組に分かれて浜松を楽しみました。

観光組は、「大河ドラマ直虎と日本を支えたモノづくり見学」と題して、井伊直虎ゆかりの「龍潭寺」、「うなぎパイファクトリー」、「ススギ歴史館」を見学、そして、最後に創業明治 25 年の老舗「藤田」でうなぎ膳を堪能しました。

今年の観光組は、出発時間が例年より早く、朝8時にゴルフ組と一緒に貸し切りバスに乗ってスタート。

まずは、ゴルフ場へ向かいましたが、ゴルフ場の手前で、車止めがある狭い道にひっかかり、バスが通れないというハプニング。ゴルフ組はそこで降りて徒歩でゴルフ場に入場となりました。前途多難な出だしとなりましたが、ゴルフ組を降ろした後、観光組は「龍潭寺」へ。

大河ドラマの舞台になっているところであり、大混雑は勘弁してほしいと思いましたが、意外と混雑せず、ゆったりと名勝の庭園や境内を拝観することができました。



龍潭寺

その後は、浜松定番の観光地、「うなぎパイファクトリー」に移動。浜松名物なので、ここで集合写真をと考えてましたが、工場の外装工事で、集合写真には打って付けの大きな看板が覆われていて見えず、断念。工場内では「うなぎパイ」のいい香りに誘われて、皆さん、売店でお土産を沢山購入しているようでした。



次は、「スズキ歴史館」へとバスを進めました。スズキ歴史館は、自動車の「スズキ」が時代とともに歩んできた多くの製品と、現在の車づくりの様子を展示してある施設で、スズキの各年代の車やオートバイが展示されているコーナーでは、皆さん童心に帰って当時のことを思い出しながら、楽しんでいました。車づくりの様子を展示したコーナーでは、車の生産ラインが再現されており、タイヤやエンジンの取り付けなどを疑似体験でき、興味深くタイヤの取り付けなどを体験していました。


スズキ歴史館



観光の締めくくりは、創業明治25年の老舗「藤田」での昼食です。皆さん、「うなぎ膳」を食しましたが、「うなぎ膳」は、「うな重」「白焼」「肝吸い」「骨せんべい」などなど、うなぎのフルコースを堪能しました。



結びになりますが、旅行会にご参加いただきました皆様に心からお礼を申し上げます。また、皆様には、不慣れな旅行会準備と進行のため色々とご不便とご迷惑をお掛けしたことと思います。この場を借りてお詫び申し上げます。旅行会の準備・運営にご尽力いただきました企画委員会の先生方には深く感謝いたします。この旅行会が記憶に残る楽しい時間だったなと感じていただける先生方が少しでも多くいらっしゃれば幸いです。

ありがとうございました。

第27回連合旅行会・ゴルフ大会

ゴルフ大会幹事
奥川　勝利

9月10日＜ゴルフ大会の部＞

今年の弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会は、「浜松カントリークラブ」で開催いたしました。

宿泊ホテル（舘山寺温泉）からの場所が遠いこともあり、観光組の方たちと一緒に観光バスに乗ってゴルフ場へ向かいました。が、なんと！バスがゴルフ場までたどり着けないというハプニング!!　ゴルフ場まであと少しというところで、バスが通れないほど狭い車止めの柵があり、結局、ゴルフ組の方はそこから徒歩で入場（右写真）。。。ゴルフ経験豊富な先生方におかれましても、“徒歩でゴルフ場へ入場”という体験は、新鮮だったのではないでしょうか。

さて、ハプニングを乗り越えたゴルフ組の先生方は、ゆっくりする間もなくプレーへ。浜松カントリークラブは、各ホールが赤松でセパレートされた林間コースで心地よく、またこの時期にしては残暑もなく比較的涼しくプレーすることができました。

今回のゴルフ大会は、4組16名で行い、新ペリア方式で順位を争いました。優勝は、西日本弁理士クラブの田中達也先生がベスグロ優勝。準優勝は弁理士同友会の井澤幹先生、3位は弁理士クラブの木下實三先生でした。賞品は、すべての順位賞の分をご用意しましたので、手ぶらでお帰りになる先生はおられなかったと思います。

成績につきましては成績表をご覧下さい。ちなみに、私は、めずらしく調子が良くて、途中までは優勝の田中先生に食らいついていたのですが、自力の差は歴然で、あえなく敗北。（ですが、ドラコン賞の獲得で一矢報いました！）

表彰式は、時間の関係もあって浜松駅までの観光バスの中、缶ビール片手に和気藹々の中で開催いたしました。ゴルフ幹事は不慣れでしたが、先生方のご協力の下、なんとか無事に役目を果たすことができました。ありがとうございます。

第27回連合旅行会・ゴルフ大会成績

平成29年9月10日（日）　於：浜松カントリークラブ

順位	氏名（敬称略）	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	GROSS順位
1	田中　達也	40	40	80	9.6	70.4	1
2	井澤　　幹	45	47	92	19.2	72.8	6
3	木下　實三	45	46	91	16.8	74.2	5
4	石川　　憲	50	56	106	31.2	74.8	11
5	川久保新一	44	46	90	14.4	75.6	3
6	坂本　智弘	47	47	94	16.8	77.2	7
7	吉村　俊一	43	47	90	12.0	78.0	3
8	奥川　勝利	44	45	89	10.8	78.2	2
9	西島　孝喜	51	50	101	22.8	78.2	9
10	渡邉　一平	58	53	111	32.4	78.6	13
11	永井　義久	47	57	104	25.2	78.8	10
12	上羽　秀敏	47	52	99	18.0	81.0	8
13	今堀　克彦	56	59	115	33.6	81.4	14
14	北村修一郎	55	55	110	26.4	83.6	12
15	真田　　有	61	59	120	34.8	85.2	15
16	吉田倫太郎	71	61	132	39.6	92.4	16



写真上：バスが乗り入れできず、徒歩でゴルフ場入り口へ。
写真下：参加者16名、笑顔でチーズ。



弁理士連合クラブ

資　料

平成29年度 弁理士連合クラブ役員・委員長・副委員長・委員

■ 役　員

幹 事 長　粕川 敏夫（同友）

副幹事長　塩野谷英城（弁ク）（政策、役員協議、調整）
　　絹谷 晴久（弁ク）（企画、研修）
　　笹川　拓（同友）（総務、30 周年記念事業）

幹　　事
（同友）　小林　保　　小川 眞一　　丸山 英一
　　吉村 俊一　　石川　憲　　松本 直子
（弁ク）　永井 義久　　船津 暢宏　　中川 裕幸
　　岸本 達人　　瀧澤 匡則　　熊井　寛

監　　事　長内 行雄（同友）　　真田 修治（弁ク）

相 談 役
（同友）　原田 信市　　菊池 新一　　小池　晃
　　田辺 敏郎　　古谷 史旺　　小林 正治
　　吉田 芳春　　小川 眞一　　丸山 英一
　　石川　憲
（弁ク）　古谷　馨　　山川 政樹　　絹谷 信雄
　　伊藤　進　　須山 佐一　　中島　淳
　　木下 實三　　永井 義久　　川久保新一
　　渡邉 一平　　山川 茂樹　　山本 晃司

■ 委　員　会

総務委員会

委 員 長　小野 友彰（同友）
副委員長　今堀 克彦（弁ク）
委　　員
（同友）　笹野 拓馬
（弁ク）　須山 英明　　三苫 貴織

政策委員会

委 員 長　船津 暢宏（弁ク）
副委員長　古谷 史旺（同友）
委　　員
（同友）　坂口 信昭　　伊賀 誠司　　関　昌充
　　田辺　恵　　茂木 康彦　　松本 直子
（弁ク）　伊藤　進　　中島　淳　　永井 義久
　　山本 晃司　　永岡 重幸　　今堀 克彦
　　三輪 浩誉　　須山 英明　　奥川 勝利
　　小田原敬一　　富澤　正

企画委員会

委 員 長　笹野 拓馬（同友）
副委員長　熊井　寛（弁ク）
委　　員
（同友）　山下 幸彦　　川崎ひかり
（弁ク）　權正 英樹　　瀧澤 匡則

役員協議委員会

委 員 長　石川　憲（同友）
副委員長　岸本 達人（弁ク）
委　　員
（同友）　藤井 稔也　　藤浪 一郎
（弁ク）　大渕美千栄　　小林　功

調整委員会

委 員 長　中川 裕幸（弁ク）
副委員長　丸山 英一（同友）
委　　員
（同友）　小川 眞一　　高下 雅弘
（弁ク）　岸本 達人

研修委員会

委 員 長　伊藤 信和（弁ク）
副委員長　横田 香澄（同友）
委　　員
（同友）　徳増あゆみ
（弁ク）　柿本 邦夫　　中川 裕幸

30 周年記念事業実行委員会

委 員 長　青山　仁（同友）
副委員長　永井 義久（弁ク）
式典部会長　吉村 俊一（同友）
祝賀会部会長　山川 茂樹（弁ク）
記念誌部会長　松本 直子（同友）
委　　員
（同友）　古谷 史旺　　小野 友彰　　田辺　恵
　　岩田 克子　　笹野 拓馬　　徳増あゆみ
　　坂口吉之助　　保屋野光繁
（弁ク）　永岡 重幸　　今堀 克彦　　三苫 貴織
　　新井　宏　　橘　祐史　　美川 公司
　　夏目 洋子　　尾崎 祐朗　　張　華威

弁理士連合クラブ歴代役員

昭和62年度

幹 事 長	山川政樹		
副幹事長	佐々木功	志賀正武	下田容一郎
幹　　事	天野　泉	伊藤　進	岡田英彦
	菊池新一	絹谷信雄	佐藤孝雄
	土橋　皓	中畑　孝	中山　清
	原田信市	古谷　馨	米屋武志
監　　事	佐々木秋市	丹波宏之	
顧　　問	当分の間置かない		

昭和63年度

幹 事 長	山川政樹		
副幹事長	佐々木功	志賀正武	下田容一郎
幹　　事	天野　泉	伊藤　進	岡田英彦
	菊池新一	絹谷信雄	佐藤孝雄
	土橋　皓	中畑　孝	中山　清
	原田信市	古谷　馨	米屋武志
監　　事	佐々木秋市	丹波宏之	
顧　　問	当分の間置かない		

総務委員会

委 員 長	山元俊仁		

政策委員会

委 員 長	磯野道造		
副委員長	小田治親		
委　　員	黒川弘朗	竹内　裕	秋山　修
	守谷一雄	須山佐一	木下實三
	三澤正義	羽村行弘	

企画委員会

委 員 長	紺野正幸		
副委員長	森　哲也		
委　　員	大貫和保	黒田博道	田辺敏郎
	辻　　実	中山伸治	松田雅章
	村田幹雄	渡邊喜平	

選挙対策委員会

委 員 長	佐々木功		

平成元年度

幹 事 長	古谷　馨		
副幹事長	佐々木功	佐藤孝雄	原田信市
幹　　事	磯野道造	菊池新一	絹谷信雄
	志賀正武	下田容一郎	武田賢市
	土橋　皓	中山　清	丹波宏之
	古谷史旺	山川政樹	米屋武志
監　　事	安達房次郎	須田孝一郎	

総務委員会

委 員 長	須山佐一		
副委員長	吉田精孝		
委　　員	大原拓也	恩田博宣	大貫和保
	小倉正明	高橋康夫	田辺敏郎
	仁平　孝	渡邊喜平	

政策委員会

委 員 長	原田信市		
副委員長	守谷一雄		
委　　員	天野　泉	黒田博道	紺野正幸
	竹内　裕	竹山宏明	戸村　隆
	松田雅章	真田修治	

企画委員会

委 員 長	唐木浄治		
副委員長	木村高久		
委　　員	山崎輝緒	齋藤美晴	佐藤幸男
	渡部敏彦	古谷史旺	大津洋夫
	小林正治	今野耕哉	

選挙対策委員会

委 員 長	丹羽宏之		

平成２年度

幹 事 長	佐々木功		
副幹事長	菊池新一	佐藤孝雄	下田容一郎
幹　　事	天野　泉	小池　晃	絹谷信雄
	木下實三	紺野正幸	志賀正武
	土橋　皓	中畑　孝	中山　清
	原田信市	山川政樹	米屋武志
監　　事	秋本正實	武田賢市	

総務委員会

委 員 長	小林正治		
副委員長	山崎輝緒		
委　　員	加藤和詳	五十嵐和壽	木村高久
	竹山宏明	齋藤美晴	本田　崇
	仁平　孝	羽村行弘	

政策委員会

委 員 長	下田容一郎		
副委員長	坂口信昭		
委　　員	秋元芳雄	飯田昭夫	積田輝正
	中島　淳	原田信市	三澤正義
	守谷一雄	山元俊仁	

企画委員会

委 員 長	吉田精孝		
副委員長	渡部敏彦		
委　　員	唐木浄治	黒田博道	桑原　稔
	永井義久	仁科勝史	松田雅章
	本宮照久	渡邉一平	

選挙対策委員会

委 員 長	絹谷信雄		

平成３年度

幹 事 長　菊池新一
副幹事長　米屋武志　下田容一郎　佐藤孝雄
幹　　事　天野　泉　磯野道造　絹谷信雄
志賀正武　武田賢市　土橋　皓
中島　淳　中山　清　原田信市
古谷史旺　山川政樹　山元俊仁
監　　事　小田治親　佐々木功

総務委員会
委 員 長　吉田精孝
副委員長　木村高久
委　　員　井上誠一　桑原　稔　坂本光雄
富田和子　羽村行弘　森　正澄
八鍬　昇　渡部敏彦

政策委員会
委 員 長　中島　淳
副委員長　坂口信昭
委　　員　五十嵐和壽　伊藤　進　大賀眞司
黒田博道　今野耕哉　竹内　裕
三澤正義　紺野正幸

企画委員会
委 員 長　黒川弘朗
副委員長　齋藤美晴
委　　員　秋山　修　北村　仁　小林正治
竹山宏明　鳥羽　修　山口邦夫
吉田芳春　渡邉一平

選挙対策委員会
委 員 長　佐藤孝雄
副委員長　天野　泉
委　　員　大塚明博　木下實三　下田容一郎
須山佐一　永井義久　中澤健二
中畑　孝　中山伸治

平成４年度

幹 事 長　原田信市
副幹事長　志賀正武　絹谷信雄　中島　淳
幹　　事　伊藤　進　菊池新一　木下實三
佐藤孝雄　下田容一郎　須山佐一
田辺敏郎　戸村　隆　古谷史旺
山崎輝緒　山本彰司　米屋武志
監　　事　磯野道造　紺野正幸

総務委員会（担当　中島）
委 員 長　黒川弘朗
副委員長　永井義久
委　　員　大島陽一　小川利春　高橋康夫
平山一幸　小倉正明　坂本光雄
竹山宏明　山木義明

政策委員会（担当　志賀）
委 員 長　佐藤孝雄
副委員長　戸村　隆
委　　員　内田和男　紺野正幸　齋藤美晴
守谷一雄　天野　泉　今野耕哉
坂口信昭　本田　崇

企画委員会（担当　絹谷）
委 員 長　吉田芳春
副委員長　関口俊三
委　　員　川久保新一　富田和子　牧野剛博
村上光司　井澤　洵　鈴木次郎
西浦嗣晴　米山淑幸

選挙対策委員会（担当　原田）
委 員 長　中島　淳
副委員長　竹内　裕
委　　員　仁平　孝　松山圭佑　山田明信
渡邊喜平　大塚明博　田辺敏郎
古谷史旺　米屋武志

平成５年度

幹 事 長　絹谷信雄
副幹事長　磯野道造　武田賢市　中島　淳
幹事（桜門）　井澤　洵　田辺敏郎　森　哲也
大橋　弘　山本彰司　小池　晃
（弁ク）　伊藤　進　木下實三　木村高久
佐藤孝雄　仁平　孝　山崎輝緒
監　　事　吉田精孝　中山　清

総務委員会（担当　磯野道造）
委 員 長　仁平　孝
副委員長　今野耕哉
委員（桜門）　羽村行弘　大塚明博　土川　晃
坂本光雄
（弁ク）　川久保新一　富田和子　油井　透
村上光司

政策委員会（担当　中島　淳）
委 員 長　天野　泉
副委員長　渡邊喜平
委員（桜門）　中山伸治　坂口信昭　黒川弘朗
川村恭子
（弁ク）　黒田博道　笹井浩毅　遠山　勉
西森浩司

企画委員会（担当　武田賢市）
委 員 長　木村高久
副委員長　秋山　修
委員（桜門）　長内行雄　飯田昭夫　仁科勝史
吉田芳春
（弁ク）　佐藤孝雄　布施行夫　真田修治
石橋佳之夫

選挙対策委員会（担当　絹谷信雄）
委 員 長　唐木浄治
副委員長　守谷一雄
委員（桜門）　恩田博宣　本田　崇　古谷史旺
森　哲也

（弁ク）　三澤正義　内田和男　山田明信
石川泰男

平成６年度

幹 事 長　米屋武志
副幹事長　天野　泉　守谷一雄　木下實三
幹事（弁ク）　木村高久　伊藤　進　須山佐一
中島　淳　三澤正義　永井義久
（同友）　森　哲也　大橋　弘　黒川弘朗
小池　晃　吉田精孝　小林正治
監事（弁ク）　小田治親
（同友）　山本彰司

総務委員会（担当　守谷一雄）
委 員 長　田中雅雄（同友）
副委員長　黒田博道（弁ク）
委員（弁ク）　原田　寛　北村　仁　渡邉一平
井上　一
（同友）　今野耕哉　小倉正明　本田　崇
竹山宏明
政策委員会（担当　天野　泉）
委 員 長　木下實三（弁ク）
副委員長　古谷史旺（同友）
委員（弁ク）　佐藤孝雄　紺野正幸　真田修治
齋藤美晴
（同友）　天野　泉　坂口信昭　大塚明博
吉田芳春
企画委員会（担当　木下實三）
委 員 長　秋山　修（同友）
副委員長　永井義久（弁ク）
委員（弁ク）　渡部敏彦　川久保新一　布施行夫
関口宗昭
（同友）　米山叔幸　旦　武尚　羽村行弘
桑原　稔
選挙対策委員会（担当　天野　泉）
委 員 長　三澤正義（弁ク）
副委員長　中澤健二（同友）
委員（弁ク）　村田幹夫　牛木　護　石川泰男
半田昌男
（同友）　積田輝正　中山伸治　本宮照久
飯田昭夫
連絡協議特別委員会（担当　米屋武志）
委 員 長　仁平　孝（弁ク）
副委員長　井澤　洵（同友）
委員（弁ク）　中島　淳　黒田博道
（同友）　菊池新一　吉田精孝

平成７年度

幹 事 長　佐藤孝雄（弁ク）
副幹事長　小池　晃（同友）
古谷史旺（同友）
伊藤　進（弁ク）
幹事（同友）　井澤　洵　田中雅雄　田辺敏郎
中山伸治　羽村行弘　吉田精孝
（弁ク）　須山佐一　中島　淳　永井義久
仁平　孝　三澤正義　守谷一雄
監事（同友）　積田輝正
（弁ク）　土橋　皓

総務委員会（担当　小池　晃）
委 員 長　石川泰男（弁ク）
副委員長　小林　保（同友）
委員（同友）　伊賀誠司　長内行雄　花村　太
山木義明
（弁ク）　井上誠一　黒田　壽　塩田辰也
西森浩司
政策委員会（担当　古谷史旺）
委 員 長　小倉正明（同友）
副委員長　齋藤美晴（弁ク）
委員（同友）　田村榮一　仁科勝史　本田　崇
森　哲也
（弁ク）　川久保新一　中川裕幸　服部雅紀
松田雅章
企画委員会（担当　伊藤　進）
委 員 長　井上　一（弁ク）
副委員長　磯野道造（同友）
委員（同友）　大貫和保　桑原　稔　中村盛夫
米山淑幸
（弁ク）　関口宗昭　佐藤年哉　保立浩一
山口邦夫
選挙対策委員会（担当　佐藤孝雄）
委 員 長　中澤健二（同友）
副委員長　守谷一雄（弁ク）
委員（同友）　秋山　修　天野　泉　大塚明博
山田智重
（弁ク）　遠山　勉　木下實三　渡邉一平
渡邊喜平

平成８年度

幹 事 長　小池　晃（同友）
副幹事長　須山佐一（弁ク）（政策・弁ク担当）
三澤正義（弁ク）（総務・人事担当）
大橋　弘（同友）（企画・同友担当）
幹事（弁ク）　下田容一郎　木村高久　伊藤　進
紺野正幸　木下實三　黒田博道
（同友）　恩田博宣　古谷史旺　坂口信昭
本田　崇　小林正治　田中雅雄
監　　事　山元俊仁（弁ク）　吉田精孝（同友）
相談役（弁ク）　古谷　馨　山川政樹　絹谷信雄
佐藤孝雄
（同友）　田中武文　原田信市　佐々木功
菊池新一　米屋武志

総務委員会

委 員 長　秋山　修（同友）
副委員長　真田修治（弁ク）
委員（弁ク）　西森浩司　川久保新一　井上　一
保立浩一
（同友）　中里浩一　桑原　稔　神崎正浩
米山叔幸

政策委員会
委 員 長　伊藤　進（弁ク）
副委員長　仁科勝史（同友）
委員（弁ク）　仁平　孝　北村　仁　青木輝男
遠山　勉
（同友）　森　哲也　小林　保　五十嵐和壽
羽村行弘

企画委員会
委 員 長　坂本光雄（同友）
副委員長　井上誠一（弁ク）
委員（弁ク）　紺野正幸　岡本啓三　開口宗昭
黒田　壽
（同友）　大貫和保　中村盛夫　中村和年
旦　武尚

研修委員会
委 員 長　高月　猛（同友）
副委員長　井上　一（弁ク）
委員（弁ク）　中川裕幸　伊藤嘉昭
（同友）　本田　崇　山田智重

選挙対策委員会
委 員 長　木下實三（弁ク）
副委員長　中山伸治（同友）
委員（弁ク）　土橋　皓　渡邉一平　黒田博道
山口邦夫
（同友）　黒川弘朗　八鍬　昇　小倉正明
伊賀誠司

平成９年度

幹 事 長　木下實三（弁ク）
副幹事長　竹内　裕（同友）（総務・10周年（主）担当）
田辺敏郎（同友）（企画・研修・10周年担当）
永井義久（弁ク）（政策・選対・10周年担当）
幹事（弁ク）　石川泰男　黒田博道　紺野正幸
須山佐一　中島　淳　三澤正義
（同友）　秋山　修　大塚明博　大貫和保
小倉正明　坂本光雄　中澤健二
監　　事　丹羽宏之（弁ク）　羽村行弘（同友）
相談役（弁ク）　古谷　馨　山川政樹　絹谷信雄
佐藤孝雄
（同友）　田中武文　原田信市　佐々木功
菊池新一　米屋武志　小池　晃

総務委員会
委 員 長　川久保新一（弁ク）
副委員長　米山淑幸（同友）
委員（弁ク）　井上誠一　加藤和詳　黒田　壽
笹井浩毅
（同友）　秋山　修　桑原　稔　菊池　徹
中村信彦

政策委員会
委 員 長　吉田精孝（同友）
副委員長　内田和男（弁ク）
委員（弁ク）　紺野正幸　布施行夫　保立浩一
三品岩男
（同友）　大塚明博　仁科勝史　小倉正明
飯田昭夫

企画委員会
委 員 長　西森浩司（弁ク）
副委員長　長内行雄（同友）
委員（弁ク）　青木輝男　石橋佳之夫　世良和信
山口邦夫
（同友）　坂本光雄　旦　武尚　小川眞一
松下　満

選挙対策委員会
委 員 長　中山伸治（同友）
副委員長　伊藤　進（弁ク）
委員（弁ク）　黒田博道　齋藤美晴　須山佐一
渡邊喜平
（同友）　吉田芳春　黒川弘朗　神崎正浩
藤井稔也

研修委員会
委 員 長　石川泰男（弁ク）
副委員長　中里浩一（同友）
委員（弁ク）　井上　一　木村高明　塩田辰也
遠山　勉
（同友）　大塚明博　小林　保　西野茂美
大賀眞司

10周年記念事業実行委員会
委 員 長　天野　泉（同友）
副委員長（弁ク）　井上誠一　内田和男　須山佐一
遠山　勉　油井　透
（同友）　唐木浄治　積田輝正　羽村行弘
吉田芳春
委員（弁ク）　青木輝男　伊藤　進　大島陽一
木村高久　黒田博道　黒田　壽
齋藤美晴　笹井浩毅　下田容一郎
中島　淳　中山　清　服部雅紀
布施行夫　三澤正義　山口邦夫
（同友）　井澤　洵　大橋　弘　大塚明博
菊池　徹　坂本光雄　坂口信昭
丸山英一　田中雅雄　旦　武尚
中澤健二　古谷史旺　山本彰司
山田智重　吉田精孝　米山淑幸

平成10年度

幹 事 長　田辺敏郎（同友）
副幹事長　吉田精孝（同友）（政策、役員協議担当）

木村高久（弁ク）（企画、研修担当）
須山佐一（弁ク）（総務、渉外関係担当）
幹事（同友） 小林正治 井澤 洵 中澤健二
本田 崇 小川眞一 五十嵐和壽
（弁ク） 小田治親 伊藤 進 仁平 孝
真田修治 渡邊喜平 井上 一
監 事 土橋 皓（弁ク） 大橋 弘（同友）
相談役（弁ク） 古谷 馨 山川政樹 絹谷信雄
佐藤孝雄 木下實三
（同友） 田中武文 原田信市 佐々木功
菊池新一 米屋武志 小池 晃

総務委員会
委 員 長 小倉正明（同友）
副委員長 渡邉一平（弁ク）
委員（同友） 清水敬一 中村盛夫 旦 武尚
伊賀誠司
（弁ク） 山口邦夫 井上誠一 下田 茂
内田和男

政策委員会
委 員 長 中島 淳（弁ク）
副委員長 小林正治（同友） 笹井浩毅（弁ク）
委員（弁ク） 青木輝夫 山口邦夫 黒田 壽
大橋邦彦 布施行夫 保立浩一
半田昌男 阪本清孝 藤野清規
原田 寛
（同友） 伊賀誠司 小倉正明 恩田博宣
唐木浄治 小池 晃 清水敬一
旦 武尚 原田信市 古谷史旺
米山淑幸
監事兼任（同友） 井澤 洵 中澤健二 本田 崇
小川眞一 五十嵐和壽
（弁ク） 小田治親 伊藤 進 仁平 孝
真田修治 渡邊喜平 井上 一

企画委員会
委 員 長 大塚明博（同友）
副委員長 小川利春（弁ク）
委員（同友） 長内行雄 小林 保 坂本光雄
羽村行弘
（弁ク） 石橋佳之夫 牧 哲郎 渡部敏彦
西森浩司

役員協議委員会
委 員 長 守谷一雄（弁ク）
副委員長 羽村行弘（同友）
委員（弁ク） 三澤正義 小田治親 岡本啓三
高橋康夫 木下實三 真田修治
（同友） 古谷史旺 唐木浄治 大貫和保
仁科勝史 中山伸治

研修委員会
委 員 長 大貫和保（同友）
副委員長 柿本恭成（弁ク）
委員（同友） 小川眞一 鈴木利明 丸山英一
中村信彦
（弁ク） 石川泰男 島田康男 古谷 聡
堤 卓

再選挙に関する特別委員会
委 員 長 木下實三（弁ク）
副委員長 守谷一雄（弁ク） 羽村行弘（同友）
委員（弁ク） 三澤正義 小田治親 岡本啓三
高橋康夫 真田修治
（同友） 古谷史旺 唐木浄治 大貫和保
仁科勝史 中山伸治

平成11年度

[幹事会]
幹 事 長 須山佐一（弁ク）
副幹事長 井澤 洵（同友）（企画、研修担当）
小林正治（同友）（政策、役員協議担当）
永井義久（弁ク）（総務、渉外関係担当）
幹事（政策委員兼任）
（同友） 大橋 弘 黒川弘朗 坂口信昭
森 哲也 羽村行弘 吉田芳春
（弁ク） 伊藤 進 小田治親 仁平 孝
渡邊喜平 川久保新一 内田和男
監 事 田中武文（同友） 土橋 皓（弁ク）
[相談役会]
相談役
（幹事長経験者）
山川政樹（弁ク） 古谷 馨（弁ク）
佐々木功（同友） 菊池新一（同友）
原田信市（同友） 絹谷信雄（弁ク）
米屋武志（同友） 佐藤孝雄（弁ク）
小池 晃（同友） 木下實三（弁ク）
田辺敏郎（同友）
（弁理士会会長経験者）
田中武文（同友） 山川政樹（弁ク）
（弁理士会常議員会議長経験者）
山元俊仁（弁ク） 天野 泉（同友）

総務委員会
委 員 長 井上 一（弁ク）
副委員長 菊池 徹（同友）
委員（弁ク） 青木輝夫 井上誠一 尾関伸介
笹井浩毅
（同友） 羽切正治 中村信彦 山木義明
崔 秀喆

政策委員会
委 員 長 小池 晃（同友）
9月以降：古谷史旺（同友）
副委員長 大橋邦彦（弁ク）
中澤健二（同友）
委員(幹事兼任)
（同友） 新井 全 飯田昭夫 伊賀誠司
竹内 裕 松下 満 吉田精孝

（弁ク）　井上誠一　北村　仁　黒田　壽
三澤正義　山名正彦

企画委員会
委員長　山口邦夫（弁ク）
副委員長　杉本良夫（同友）
委員（弁ク）　岡本啓三　亀谷美明　布施行夫
渡部敏彦
（同友）　本宮照久　神崎正浩　高尾裕之
青山　仁

役員協議委員会
委員長　原田信市（同友）
副委員長　内田和男（弁ク）
天野　泉（同友）
委員（同友）　五十嵐和壽　小川眞一　竹内　裕
中山伸治
（弁ク）　川久保新一　木村高久　紺野正幸
仁平　孝　原田　寛　守谷一雄
山川政樹

調整委員会
委員長　古谷史旺（同友）
副委員長　三澤正義（弁ク）
委員（同友）　菊池新一　原田信市　森　哲也
山本彰司
（弁ク）　絹谷信雄　下田容一郎　中山　清
守谷一雄

研修委員会
委員長　保立浩一（弁ク）
副委員長　五十嵐和壽（同友）
委員（弁ク）　堤　卓　永岡重幸　廣田浩一
油井　透
（同友）　山田智重　中里浩一　米山淑幸
藤井稔也

平成12年度

[幹事会]
幹事長　古谷史旺（同友）
副幹事長　仁平　孝（弁ク）（政策、役員協議担当）
真田修治（弁ク）（企画、研修担当）
坂口信昭（同友）（総務、調整、渉外関係担当）
幹事（弁ク）　内田和男　井上　一　中島　淳
渡邉一平　土橋　皓　永井義久
（同友）　大貫和保　大塚明博　本田　崇
小倉正明　羽村行弘　田中雅雄
監事　積田輝正（同友）　原田　寛（弁ク）
相談役　田中武文（同友）　山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）　佐々木功（同友）
菊池新一（同友）　原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）　佐藤孝雄（弁ク）
小池　晃（同友）　木下實三（弁ク）
田辺敏郎（同友）　須山佐一（弁ク）

総務委員会
委員長　坂本光雄（同友）
副委員長　黒田　壽（弁ク）
委員（弁ク）　山本晃司　伊藤嘉昭　尾川秀昭
石崎　剛
（同友）　大塚明博　山木義明　菊池　徹
崔　秀喆

政策委員会
委員長　木下實三（弁ク）
副委員長　本田　崇（同友）
世良和信（弁ク）
委員（同友）　竹内　裕　中澤健二　秋山　修
小林正治　吉田芳春　小倉正明
松下　満　崔　秀喆
（弁ク）　伊藤　進　齋藤美晴　亀谷美明
川久保新一　保立浩一　布施行夫

役員協議委員会
委員長　下田容一郎（弁ク）
副委員長　小林正治（同友）
井上　一（弁ク）
委員（同友）　原田信市　黒川弘朗　高野昌俊
西野茂美　本宮照久
（弁ク）　永井義久　紺野正幸　小田治親
青木輝夫　北村　仁

調整委員会
委員長　三澤正義（弁ク）
副委員長　山本彰司（同友）
委員（弁ク）　絹谷信雄　木村高久　守谷一雄
須山佐一
（同友）　中山伸治　菊池新一　森　哲也
天野　泉

研修委員会
委員長　山田智重（同友）
副委員長　木村高久（弁ク）
委員（弁ク）　堤　卓　高島敏郎　友野英三
阪本清孝
（同友）　中村信彦　青山　仁　高田大輔
高尾裕之

企画委員会
委員長　長内行雄（同友）
副委員長　柿本恭成（弁ク）
委員（同友）　杉本良夫　伊賀誠司　丸山英一
山﨑高明
（弁ク）　廣田浩一　佐藤年哉　富澤　孝
金坂憲幸

平成13年度

幹事長　中島　淳（弁ク）
副幹事長　本田　崇（同友）（政策、研修担当）
山本彰司（同友）（企画、役員協議担当）
伊藤　進（弁ク）（総務、調整、渉外関係担当）
幹事（弁ク）　中山　清　仁平　孝　笹井浩毅
内田和男　大橋邦彦　布施行夫

（同友）　唐木浄治　丸山英一　山﨑高明
五十嵐和壽　森　哲也　中山伸治
監　事　黒川弘朗（同友）　富田和子（弁ク）
相 談 役　田中武文（同友）　山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）　佐々木功（同友）
菊池新一（同友）　原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）　米屋武志（同友）
佐藤孝雄（弁ク）　小池　晃（同友）
木下實三（弁ク）　田辺敏郎（同友）
須山佐一（弁ク）　古谷史旺（同友）

総務委員会
委 員 長　保立浩一（弁ク）
副委員長　中村盛夫（同友）
委員（弁ク）　尾川秀昭　阪本清孝　廣田浩一
山本晃司
（同友）　中里浩一　松下　満　藤井稔也
山木義明

政策委員会
委 員 長　磯野道造（同友）
副委員長　齋藤美晴（弁ク）　羽村行弘（同友）
委員（弁ク）　柿本邦夫　黒田勇治　仁平　孝
平山一幸　三谷　惠　三澤正義
山川茂樹
（同友）　五十嵐和壽　坂口信昭　竹内　裕
田辺敏郎　中澤健二　森　哲也

役員協議委員会
委 員 長　吉田精孝（同友）
副委員長　守谷一雄（弁ク）　吉田芳春（同友）
委員（弁ク）　小田治親　柿本恭成　北村　仁
木下實三　紺野正幸
（同友）　内藤嘉昭　佐々木功　古谷史旺
仁科勝史　長内行雄

調整委員会
委 員 長　中澤健二（同友）
副委員長　木村高久（弁ク）
委員（弁ク）　須山佐一　真田修治　永井義久
渡邉一平
（同友）　天野　泉　小林正治　中畑　孝
志賀正武

研修委員会
委 員 長　山川茂樹（弁ク）
副委員長　菊池　徹（同友）
委員（弁ク）　石川泰男　堀　城之　富澤　孝
木村高明
（同友）　山田智重　杉本良夫　旦　武尚
青山　仁

企画委員会
委 員 長　黒田　壽（弁ク）
副委員長　川俣静子（同友）
委員（弁ク）　金坂憲幸　佐藤年哉　友野英三
岡本啓三
（同友）　高野昌俊　竹山宏明　崔　秀喆
谷口　登

平成14年度
幹 事 長　小林正治（同友）
副幹事長　森　哲也（同友）（総務、調整、渉外関係担当）
内田和男（弁ク）（企画、研修担当）
川久保新一（弁ク）（政策、役員協議担当）
幹事（弁ク）　山川政樹　牧　哲郎　青木輝夫
布施行夫　亀谷美明　保立浩一
（同友）　中山伸治　唐木浄治　清水敬一
山本義明　白崎真二　宮坂　徹
監　事　中山　清（弁ク）　仁科勝史（同友）
相 談 役　田中武文（同友）　山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）　佐々木功（同友）
菊池新一（同友）　原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）　米屋武志（同友）
佐藤孝雄（弁ク）　小池　晃（同友）
木下實三（弁ク）　田辺敏郎（同友）
須山佐一（弁ク）　古谷史旺（同友）
中島　淳（弁ク）

総務委員会
委 員 長　五十嵐和壽（同友）
副委員長　中川裕幸（弁ク）
委員（弁ク）　柿本邦夫　山本晃司　廣田浩一
佐原雅史
（同友）　中村盛夫　松田克治　秋元芳雄
長内行雄

企画委員会
委 員 長　川俣静子（同友）
副委員長　山口義雄（弁ク）
委員（弁ク）　大渕美千栄　阪本清孝　金坂憲幸
金井英幸
（同友）　竹山宏明　崔　秀喆　広瀬　一
谷口　登

政策委員会
委 員 長　永井義久（弁ク）
副委員長　坂口信昭（同友）
委員（弁ク）　伊藤　進　木下實三　齋藤美晴
井上　一　山川茂樹　友野英三
（同友）　田辺敏郎　中澤健二　本田　崇
大塚明博　高野昌俊　小倉正明

役員協議委員会
委 員 長　伊藤　進（弁ク）
副委員長　中村盛夫（同友）
委員（弁ク）　下田容一郎　紺野正幸　仁平　孝
柿本恭成　黒田　壽
（同友）　原田信市　黒川弘朗　山本彰司
古谷史旺　内藤嘉昭

研修委員会
委 員 長　長内行雄（同友）

副委員長　世良和信（弁ク）
委員（弁ク）　鈴木　知　山本　尚　美濃好美
塩野谷英城
（同友）　五十嵐和壽　伊賀誠司　丸山英一
杉本良夫

調整委員会
委員長　須山佐一（弁ク）
副委員長　磯野道造（同友）
委員（弁ク）　中山　清　絹谷信雄　木村高久
中島　淳
（同友）　佐々木功　中村政美　積田輝正
大貫和保

平成15年度

幹事長　伊藤　進（弁ク）
副幹事長　中澤健二（同友）（政策、調整担当）
飯田昭夫（同友）（企画、研修担当）
渡邉一平（弁ク）（総務、役員協議、渉外担当）
幹事（同友）　中山伸治　大塚明博　中村盛夫
伊賀誠司　旦　武尚　高尾裕之
（弁ク）　牧　哲郎　山崎輝緒　真田修治
北村　仁　井上誠一　阪本清孝
監事　松田克治（同友）　木村高久（弁ク）
相談役　田中武文（同友）　山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）　佐々木功（同友）
菊池新一（同友）　原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）　米屋武志（同友）
佐藤孝雄（弁ク）　小池　晃（同友）
木下實三（弁ク）　田辺敏郎（同友）
須山佐一（弁ク）　中島　淳（弁ク）
小林正治（同友）

総務委員会
委員長　齋藤美晴（弁ク）
副委員長　松下　満（同友）
委員（同友）　神崎正浩　花村　太　粕川敏夫
井澤　幹
（弁ク）　鈴木　知　中川裕幸　柿本邦夫
石崎　剛

企画委員会
委員長　本宮照久（同友）
副委員長　水野　清（弁ク）
委員（同友）　長内行雄　新井　全　小島　猛
西　和哉
（弁ク）　内田和男　小川利春　金坂憲幸
美濃好美

政策委員会
委員長　吉田芳春（同友）
副委員長　永井義久（弁ク）
委員（同友）　磯野道造　小池　晃　坂口信昭
原田信市　竹内　裕　本田　崇
旦　武尚　青山　仁
（弁ク）　大橋邦彦　中島　淳　三澤正義
井上　一　保立浩一　服部雅紀
今井孝弘

役員協議委員会
委員長　永井義久（弁ク）
副委員長　杉本良夫（同友）
黒田　壽（弁ク）
委員（同友）　天野　泉　大塚明博　中村盛夫
松原　等
（弁ク）　仁平　孝　川久保新一　布施行夫
山川茂樹　山本晃司

研修委員会
委員長　塩野谷英城（弁ク）
副委員長　大賀眞司（同友）
委員（同友）　林　信之　高野昌俊　石川　憲
中原文彦
（弁ク）　鈴木健治　佐原雅史　西康二郎
田中ひろみ

調整委員会
委員長　天野　泉（同友）
副委員長　中山　清（弁ク）
委員（同友）　吉田精孝　本田　崇　山本彰司
磯野道造
（弁ク）　絹谷信雄　土橋　皓　紺野正幸
小田治親

平成16年度

幹事長　磯野道造（同友）
副幹事長　須山佐一（弁ク）（研修、企画担当）
永井義久（弁ク）（政策、調整担当）
五十嵐和壽（同友）（総務、役員協議、渉外担当）
幹事（弁ク）　保立浩一　山川茂樹　内田和男
中川裕幸　小川利春　笹井浩毅
（同友）　竹内　裕　清水　修　大貫和保
神崎正浩　伊賀誠司　石川　憲
監事　小田治親（弁ク）　大塚明博（同友）
相談役　田中武文（同友）　山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）　佐々木功（同友）
菊池新一（同友）　原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）　米屋武志（同友）
佐藤孝雄（弁ク）　小池　晃（同友）
木下實三（弁ク）　田辺敏郎（同友）
須山佐一（弁ク）　中島　淳（弁ク）
小林正治（同友）　伊藤　進（弁ク）

総務委員会
委員長　米山淑幸（同友）
副委員長　山川茂樹（会計担当）（弁ク）
委員（弁ク）　井上誠一　美濃好美　茅野直勝
三谷　惠
（同友）　花村　太　粕川敏夫　神崎正浩
小島　猛

企画委員会
委 員 長　金坂憲幸（弁ク）
副委員長　新井　全（同友）
委員（弁ク）　阪本清孝　北村　仁　阿仁屋節雄
柿本邦夫
（同友）　松下　満　西　和哉　旦　武尚
佐藤　陽

政策委員会
委 員 長　三澤正義（弁ク）
副委員長　飯田昭夫（同友）
委員（弁ク）　亀谷美明　布施行夫　保立浩一
山川茂樹　伊藤　進　渡邉一平
（同友）　長内行雄　坂口信昭　中澤健二
坂本光雄　中村盛夫　成瀬重雄

役員協議委員会
委 員 長　中村盛夫（同友）
副委員長　土橋　皓（弁ク）
委員（弁ク）　保立浩一　石川泰男　平山一幸
笹井浩毅　渡邉一平
（同友）　中里浩一　仁科勝史　杉本良夫
宮坂　徹

研修委員会
委 員 長　林　信之（同友）
副委員長　中川裕幸（弁ク）
委員（弁ク）　鈴木　知　永岡重幸　鈴木　敦
岡田希子
（同友）　中村信彦　山田智重　大賀眞司
井澤　幹

調整委員会
委 員 長　伊藤　進（弁ク）
副委員長　本田　崇（同友）
委員（弁ク）　紺野正幸　中山　清　絹谷信雄
山川政樹
（同友）　小池　晃　吉田精孝　中山伸治
大橋　弘

平成17年度

幹 事 長　永井義久（弁ク）
副幹事長　吉田芳春（同友）（研修、政策、役員協議〈後期〉担当）
小川眞一（同友）（企画、役員協議〈前期〉担当）
笹井浩毅（弁ク）（総務、調整担当）
幹事（同友）　新井　全　伊賀誠司　長内行雄
坂口信昭　坂本光雄　中村盛夫
（弁ク）　鈴木　知　堤　卓　中川裕幸
中山　清　布施行夫　山本晃司
監　事　大塚明博（同友）　小田治親（弁ク）
相 談 役　田中武文（同友）　山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）　佐々木功（同友）
菊池新一（同友）　原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）　米屋武志（同友）
小池　晃（同友）　木下實三（弁ク）
田辺敏郎（同友）　須山佐一（弁ク）
中島　淳（弁ク）　小林正治（同友）
伊藤　進（弁ク）　磯野道造（同友）

総務委員会
委 員 長　金坂憲幸（弁ク）
副委員長　山﨑高明（同友）
委員（同友）　松下　満　杉本良夫　宮坂　徹
山田武史　安彦　元　関　昌充
（弁ク）　井上誠一　柿本邦夫　廣田浩一
三谷　惠

企画委員会
委 員 長　高尾裕之（同友）
副委員長　山口義男（弁ク）
委員（弁ク）　阿仁屋節雄　井上誠一
（同友）　新井　全　杉本良夫　吉村俊一

政策委員会
委 員 長　川久保新一（弁ク）
副委員長　坂本光雄（同友）
委員（同友）　坂口信昭　中村盛夫　成瀬重雄
（弁ク）　木下實三　中島　淳　井上　一
黒田　壽　山川茂樹　田中ひろみ

役員協議委員会
委 員 長　長内行雄（同友）
副委員長　紺野正幸（弁ク）
副委員長　菊池　徹（同友）
委員（弁ク）　水野　清　服部雅紀　山川茂樹
山本晃司
（同友）　中澤健二　仁科勝史　伊賀誠司
崔　秀喆　小島　猛

研修委員会
委 員 長　小川利春（弁ク）
副委員長　林　信之（同友）
委員（同友）　青山　仁
（弁ク）　北村　仁　永岡重幸　鈴木　敦

能力担保専門委員
（同友）　山本彰司　五十嵐和壽　本宮照久
中村信彦
（弁ク）　原田　寛　尾川秀昭　服部雅紀
河部秀男　赤羽良之

調整委員会
委 員 長　本田　崇（同友）
副委員長　渡邉一平（弁ク）
委員（弁ク）　下田容一郎　川久保新一
（同友）　吉田精孝　丸山英一

平成18年度

幹 事 長　吉田芳春（同友）
副幹事長　三澤正義（弁ク）（役員協議、政策担当）
長内行雄（同友）（総務、調整担当）
井上誠一（弁ク）（研修、企画担当）
幹事（弁ク）　服部雅紀　金坂憲幸　川久保新一
小川利春　永岡重幸　美濃好美

（同友）　磯野道造　坂口信昭　小林正治
五十嵐和壽　小林　保　杉本良夫
監　事　真田修治（弁ク）　大貫和保（同友）
相談役　田中武文（同友）　山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）　佐々木功（同友）
菊池新一（同友）　原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）　米屋武志（同友）
小池　晃（同友）　木下實三（弁ク）
田辺敏郎（同友）　須山佐一（弁ク）
中島　淳（弁ク）　小林正治（同友）
伊藤　進（弁ク）　磯野道造（同友）
永井義久（弁ク）

総務委員会
委員長　山﨑高明（同友）
副委員長　美濃好美（弁ク）
委員（弁ク）　今井孝弘　柿本邦夫
（同友）　山田武史　宮坂　徹　松下　満
杉本良夫　安彦　元　関　昌充

役員協議委員会
委員長　須山佐一（弁ク）
副委員長　磯野道造（同友）　紺野正幸（弁ク）
委員（同友）　井澤　幹　菊池　徹　小島　猛
藤浪一郎　堂本　環　古川友美
丸山英一
（弁ク）　小川利春　金坂憲幸　塩野谷英城
布施行夫　山口義雄　山本晃司

研修委員会
委員長　成瀬重雄（同友）
副委員長　布施行夫（弁ク）
委員（弁ク）　小川利春　長谷川靖　三谷　惠
（同友）　林　信之　中村信彦　山田武史

企画委員会
委員長　永岡重幸（弁ク）
副委員長　粕川敏夫（同友）
委員（同友）　松下　満　花村　太　中原文彦
（弁ク）　柿本邦夫　阿仁屋節雄　山口義雄

政策委員会
委員長　崔　秀喆（同友）
副委員長　廣瀬隆行（弁ク）
委員（弁ク）　保立浩一　笹井浩毅　鈴木喜三郎
田中ひろみ　井上　一　今井孝弘
岡田希子　奥田　誠　金坂憲幸
上條由紀子　茅野直勝　川久保新一
木下實三　小林　浩　佐成重範
永井義久　永岡重幸　服部雅紀
美濃好美　山本晃司　中島　淳
山川茂樹
（同友）　丸山英一　小林　保　小林正治
坂本光雄　本宮照久　菊池　徹
杉本良夫　坂口信昭

調整委員会
委員長　永井義久（弁ク）
副委員長　山本彰司（同友）
委員（同友）　吉田精孝　丸山英一
（弁ク）　下田容一郎　川久保新一

平成19年度

幹事長　川久保新一（弁ク）
副幹事長　天野　泉（同友）（20周年記念事業担当）
井上　一（弁ク）（総務、政策、調整担当）
丸山英一（同友）（企画、役員協議、研修担当）
幹事（同友）　坂口信昭　五十嵐和壽　坂本光雄
伊賀誠司　杉本良夫　中原文彦
（弁ク）　小川利春　井上誠一　塩野谷英城
永岡重幸　服部雅紀　三澤正義
監　事　真田修治（弁ク）　大貫和保（同友）
相談役（同友）　田中武文　佐々木功　菊池新一
原田信市　米屋武志　小池　晃
田辺敏郎　小林正治　磯野道造
吉田芳春
（弁ク）　伊藤　進　木下實三　絹谷信雄
須山佐一　永井義久　中島　淳
古谷　馨　山川政樹

総務委員会
委員長　中川裕幸（弁ク）
副委員長　中原文彦（同友）
委員（同友）　旦　武尚　花村　太　小島　猛
（弁ク）　奥川勝利　茅野直勝

政策委員会
委員長　山本晃司（弁ク）
副委員長　本宮照久（同友）
委員（同友）　坂本光雄　田中雅雄　崔　秀喆
山田武史　石川　憲
（弁ク）　保立浩一　廣瀬隆行　奥　和幸
住吉勝彦　田中ひろみ

役員協議委員会
委員長　小川眞一（同友）
副委員長　亀谷美明（弁ク）
委員（弁ク）　平山一幸　布施行夫　柿本邦夫
（同友）　伊賀誠司　粕川敏夫　高尾裕之

調整委員会
委員長　渡邉一平（弁ク）
副委員長　山本彰司（同友）
委　員　選任なし

研修委員会
委員長　米山淑幸（同友）
副委員長　今井孝弘（弁ク）
委員（弁ク）　絹谷晴久　須山英明　長谷川靖
（同友）　中村信彦　三島広規　小島　猛

企画委員会
委員長　菊池　徹（同友）
副委員長　山本寿武（弁ク）

委員（弁ク）　阿仁屋節雄　奥田　誠　鈴木喜三郎
山口義雄
（同友）　青山　仁　高尾裕之　本宮照久

20周年記念事業実行委員会
委 員 長　永井義久（弁ク）
副委員長　伊賀誠司（同友）
部会長〈式　典〉黒田　壽（弁ク）
部会長〈祝賀会〉小川眞一（同友）
委員（同友）　伊賀誠司　新井　全　中村盛夫
崔　秀喆　粕川敏夫　杉本良夫
（弁ク）　茅野直勝　原田　寛　山口邦夫
中川裕幸　伊藤信和　柿本邦夫
鈴木　知

平成20年度

幹 事 長　小川眞一（同友）
副幹事長　亀谷美明（弁ク）（政策、役員協議担当）
中川裕幸（弁ク）（研修、企画担当）
伊賀誠司（同友）（総務、調整担当）
幹事（弁ク）　金坂憲幸　塩野谷英城　鈴木　知
永井義久　永岡重幸　三澤正義
（同友）　新井　全　坂本光雄　中原文彦
萼　経夫　松下　満　山木義明
監　　事　真田修治（弁ク）　坂口信昭（同友）
相談役（弁ク）　伊藤　進　川久保新一　木下實三
絹谷信雄　須山佐一　永井義久
中島　淳　古谷　馨　山川政樹
（同友）　磯野道造　菊池新一　小池　晃
小林正治　佐々木功　田中武文
田辺敏郎　原田信市　吉田芳春
米屋武志

総務委員会
委 員 長　中原文彦（同友）
副委員長　住吉勝彦（弁ク）
委員（弁ク）　鈴木　知　柿本邦夫　小國泰弘
（同友）　菊池　徹　宮坂　徹　山田武史
政策委員会
委 員 長　住吉勝彦（弁ク）
副委員長　本田　淳（同友）
委員（同友）　森　哲也　天野　泉　竹内　裕
小池　晃　古谷史旺　吉田芳春
丸山英一　山田武史　長内行雄
恒川圭志　笹川　拓　関　昌充
笹野拓馬
（弁ク）　世良和信　川久保新一　井上　一
金坂憲幸　山本寿武　奥田　誠
伊藤信和　今井孝弘　上條由紀子
奥　和幸　及川　周　國井久美子
森岡嗣象　高橋史保
企画委員会
委 員 長　長内行雄（同友）
副委員長　瀧澤匡則（弁ク）
委員（弁ク）　加藤和孝　村井弘実
（同友）　菊池　徹　谷山尚史　井澤　幹
研修委員会
委 員 長　奥　和幸（弁ク）
副委員長　大塚明博（同友）
委員（弁ク）　今井孝弘　加藤政之　石戸孝則
調整委員会
委 員 長　山本彰司（同友）
副委員長　三澤正義（弁ク）
委員（弁ク）　下田容一郎　伊藤　進
（同友）　古谷史旺　丸山英一
役員協議委員会
委 員 長　保立浩一（弁ク）
副委員長　吉田芳春（同友）

平成21年度

幹 事 長　渡邉一平（弁ク）
副幹事長　本宮照久（同友）（企画、研修担当）
山﨑高明（同友）（政策、役員協議担当）
黒田　壽（弁ク）（総務、調整担当）
幹事（同友）　新井　全　坂本光雄　松下　満
山木義明　菊池　徹　大塚明博
（弁ク）　小川利春　井上誠一　塩野谷英城
今井孝弘　山川茂樹　山口義雄
監　　事　坂口信昭（同友）　真田修治（弁ク）
相談役（同友）　田中武文　佐々木功　菊池新一
原田信市　米屋武志　小池　晃
田辺敏郎　古谷史旺　小林正治
磯野道造　吉田芳春　小川眞一
（弁ク）　伊藤　進　川久保新一　木下實三
絹谷信雄　須山佐一　永井義久
中島　淳　古谷　馨　山川政樹

総務委員会
委 員 長　永岡重幸（弁ク）
副委員長　吉村俊一（同友）
委員（同友）　青山　仁　笹川　拓　関　昌充
（弁ク）　山川茂樹　柿本邦夫　奥　和幸
政策委員会
委 員 長　森　哲也（同友）
副委員長　山本晃司（弁ク）
委員（弁ク）　伊藤　進　井上誠一　及川　周
奥　和幸　川久保新一　川守田光紀
國井久美子　住吉勝彦　世良和信
永井義久　永岡重幸　山川茂樹
梶　俊和
（同友）　天野　泉　小川眞一　小池　晃
笹川　拓　笹野拓馬　関　昌充
竹内　裕　恒川圭志　古谷史旺
本田　淳　丸山英一　山﨑高明

山田武史　吉田芳春

役員協議委員会
委員長　吉田芳春（同友）
副委員長　保立浩一（弁ク）

調整委員会
委員長　三澤正義（弁ク）
副委員長　山本彰司（同友）
委員（同友）　天野　泉　古谷史旺
（弁ク）　伊藤　進　下田容一郎

研修委員会
委員長　中原文彦（同友）
副委員長　鈴木　敦（弁ク）
委員（弁ク）　住吉勝彦
（同友）　山田武史

企画委員会
委員長　梶　俊和（弁ク）
副委員長　中原文彦（同友）
委員（同友）　井澤　幹　本田　淳
（弁ク）　山口義雄　瀧澤匡則

平成22年度

幹事長　亀谷美明（弁ク）
副幹事長　田中雅雄（同友）
山川茂樹（弁ク）
吉村俊一（同友）
幹事（同友）　大塚明博　坂本光雄　山木義明
松下　満　新井　全　菊池　徹
（弁ク）　小川利春　岡本啓三　井上誠一
山本晃司　永岡重幸　今井孝弘
監事　坂口信昭（同友）　齋藤美晴（弁ク）
相談役（同友）　原田信市　佐々木功　磯野道造
菊池新一　小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治　吉田芳春
小川眞一
（弁ク）　古谷　馨　山川政樹　絹谷信雄
伊藤　進　須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久　川久保新一
渡邉一平

総務委員会
委員長　住吉勝彦（弁ク）
副委員長　本田　淳（同友）
委員（弁ク）　松本一騎　長野みか

政策委員会
委員長　山本晃司（弁ク）
副委員長　藤井稔也（同友）
委員（同友）　天野　泉　竹内　裕　小池　晃
古谷史旺　吉田芳春　丸山英一
山田武史　本田　淳
（弁ク）　伊藤　進　内田和男　永井義久
川久保新一　井上誠一　永岡重幸
奥　和幸　住吉勝彦　梶　俊和

役員協議委員会
委員長　丸山英一（同友）（4/1～）
副委員長　鈴木　知（弁ク）
委員（弁ク）　小國泰弘　絹谷晴久　潮　太朗
（同友）　中村盛夫　坂本光雄　藤井稔也
林　信之　笹川　拓　本田　淳

調整委員会
委員長　田辺敏郎（同友）
副委員長　伊藤　進（弁ク）
委員　山本彰司（同友）

研修委員会
委員長　今井孝弘（弁ク）
副委員長　山田武史（同友）
委員　中原文彦（同友）

企画委員会
委員長　佐尾山和彦（同友）
副委員長　伊藤信和（弁ク）
委員（弁ク）　山本寿武　奥　和幸
（同友）　菊池　徹　古川友美

平成23年度

選任なし

平成24年度

幹事長　古谷史旺（同友）
副幹事長　中川裕幸（弁ク）
山川茂樹（弁ク）
小川眞一（同友）
幹事（弁ク）　柿本邦夫　塩野谷英城　絹谷晴久
木戸基文
（同友）　大塚明博　坂本光雄　山木義明
松下　満　新井　全　菊池　徹
監事　齋藤美晴（弁ク）　坂口信昭（同友）
相談役（弁ク）　古谷　馨　山川政樹　絹谷信雄
伊藤　進　須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久　川久保新一
（同友）　原田信市　佐々木功　磯野道造
菊池新一　小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治　吉田芳春
小川眞一

総務委員会
委員長　中原文彦（同友）
副委員長　小國泰弘（弁ク）
その他の委員会については、立ち上げず

平成25年度

幹事長　丸山英一（同友）
副幹事長　中川裕幸（弁ク）
山本晃司（弁ク）
吉村俊一（同友）
幹事（弁ク）　木下實三　井上誠一　岸本達人

	永岡重幸	瀧澤匡則	野崎俊剛
（同友）	田中雅雄	山﨑高明	山田武史
	中原文彦	安彦　元	井澤　幹
監　　事	坂口信昭（同友）	真田修治（弁ク）	
相談役（弁ク）	古谷　馨	山川政樹	絹谷信雄
	伊藤　進	須山佐一	中島　淳
	木下實三	永井義久	川久保新一
（同友）	原田信市	佐々木功	磯野道造
	菊池新一	小池　晃	田辺敏郎
	古谷史旺	小林正治	

総務委員会
- 委 員 長　安彦　元（同友）
- 副委員長　瀧澤匡則（弁ク）

政策委員会
- 委 員 長　永岡重幸（弁ク）
- 副委員長　山﨑高明（同友）

役員協議委員会
- 委 員 長　井澤　幹（同友）
- 副委員長　井上誠一（弁ク）

調整委員会
- 委 員 長　木下實三（弁ク）
- 副委員長　田中雅雄（同友）

研修委員会
- 委 員 長　野崎俊剛（弁ク）
- 副委員長　山田武史（同友）

企画委員会
- 委 員 長　中原文彦（同友）
- 副委員長　岸本達人（弁ク）

平成26年度

幹 事 長	山川茂樹（弁ク）		
副幹事長	青山　仁（同友）（企画委員会、研修委員会）		
	井澤　幹（同友）（役員協議委員会、調整委員会）		
	鈴木　知（弁ク）（総務委員会、政策委員会）		
幹事（同友）	丸山英一	山﨑高明	笹川　拓
	茜ヶ久保公二	岩田克子	本田　淳
（弁ク）	世良和信	渡邉一平	岸本達人
	小國泰弘	梶　俊和	絹谷晴久
監　　事	坂口信昭（同友）	真田修治（弁ク）	
相談役（同友）	原田信市	佐々木功	磯野道造
	菊池新一	小池　晃	田辺敏郎
	古谷史旺	小林正治	吉田芳春
	小川眞一	丸山英一	
（弁ク）	古谷　馨	山川政樹	絹谷信雄
	伊藤　進	須山佐一	中島　淳
	木下實三	永井義久	川久保新一
	渡邉一平		

総務委員会
- 委 員 長　塩野谷英城（弁ク）
- 副委員長　本田　淳（同友）
- 委員（同友）　笹野拓馬　石井理太
- （弁ク）　柿本邦夫　飛田高介

政策委員会
- 委 員 長　山﨑高明（同友）
- 副委員長　瀧澤匡則（弁ク）

委員（弁ク）	伊藤　進	永井義久	渡邉一平
	岸本達人	岡田希子	永岡重幸
	小國泰弘	今堀克彦	須山英明
	奥川勝利	内野則彰	岩田耕一
	富澤　正	野崎俊剛	
（同友）	竹内　裕	仁科勝史	吉田芳春
	長内行雄	伊賀誠司	丸山英一
	山田武史	笹川　拓	恒川圭志
	石川　憲	井澤　幹	笹野拓馬
	茂木康彦	大和田昭彦	

企画委員会
- 委 員 長　小田原敬一（弁ク）
- 副委員長　岩田克子（同友）
- 委員（同友）　仲村圭代　駒場大視
- （弁ク）　奥川勝利　潮　太朗

役員協議委員会
- 委 員 長　永岡重幸（弁ク）
- 副委員長　茜ヶ久保公二（同友）
- 委員（同友）　田辺　恵　藤浪一郎　徳増あゆみ
- 飯野智史　須田守一
- （弁ク）　船津暢宏　小國泰弘　美川公司
- 梶　俊和

調整委員会
- 委 員 長　丸山英一（同友）
- 副委員長　伊藤　進（弁ク）
- 委員（弁ク）　船津暢宏　山本晃司
- （同友）　田中雅雄　粕川敏夫

研修委員会
- 委 員 長　笹川　拓（同友）
- 副委員長　三輪浩誉（弁ク）
- 委員（弁ク）　松本一騎
- （同友）　山田武史

平成27年度

幹 事 長	山本晃司（弁ク）		
副幹事長	永岡重幸（弁ク）（企画委員会、研修委員会）		
	森　俊秀（同友）（総務委員会、政策委員会）		
	石川　憲（同友）（役員協議委員会、調整委員会）		
幹事（同友）	小川眞一	山田武史	吉村俊一
	安彦　元	本田　淳	大橋剛之
（弁ク）	世良和信	渡邉一平	岸本達人
	小國泰弘	梶　俊和	絹谷晴久
監　　事	真田修治（弁ク）	坂本光雄（同友）	
相談役（同友）	原田信市	佐々木功	磯野道造
	菊池新一	小池　晃	田辺敏郎
	古谷史旺	小林正治	吉田芳春

小川眞一　丸山英一
（弁ク）古谷　馨　山川政樹　絹谷信雄
伊藤　進　須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久　川久保新一
渡邉一平　山川茂樹

総務委員会
委 員 長　大橋剛之（同友）
副委員長　飛田高介（弁ク）
委員（同友）茂木康彦　陸名智之
（弁ク）柿本邦夫　佐々木まどか
政策委員会
委 員 長　三輪浩誉（弁ク）
副委員長　本田　淳（同友）
委員（同友）坂口信昭　飯田昭夫　中村盛夫
伊賀誠司　関　昌充　井澤　幹
（弁ク）伊藤　進　濱田百合子　松本一騎
熊井　寛　野崎俊剛　美川公司
企画委員会
委 員 長　安彦　元（同友）
副委員長　奥　和幸（弁ク）
委員（同友）徳増あゆみ　駒場大視
（弁ク）柿本邦夫　永井　望
役員協議委員会
委 員 長　吉村俊一（同友）
副委員長　梶　俊和（弁ク）
委員（同友）丸山英一
調整委員会
委 員 長　伊藤　進（弁ク）
副委員長　小川眞一（同友）
委員（同友）田辺敏郎
（弁ク）船津暢宏　黒田　壽　瀧澤匡則
研修委員会
委 員 長　野崎俊剛（弁ク）
副委員長　山田武史（同友）
委員（同友）笹川　拓
（弁ク）下田憲雅

平成28年度
幹 事 長　石川　憲（同友）
副幹事長　船津暢宏（弁ク）（役員協議委員会、調整委員会）
梶　俊和（弁ク）（政策委員会、企画委員会、研修委員会）
笹野拓馬（同友）（総務委員会、30周年準備委員会）
幹事（同友）小林　保　長内行雄　小川眞一
山田武史　本田　淳　徳増あゆみ
（弁ク）永井義久　中川裕幸　山本晃司
岸本達人　須山英明　瀧澤匡則
監　事　中村盛夫（同友）　真田修治（弁ク）
相談役（同友）原田信市　佐々木功　磯野道造
菊池新一　小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治　吉田芳春
小川眞一　丸山英一
（弁ク）古谷　馨　山川政樹　絹谷信雄
伊藤　進　須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久　川久保新一
渡邉一平　山川茂樹　山本晃司

総務委員会
委 員 長　中川裕幸（弁ク）
副委員長　笹川　拓（同友）
委員（同友）松本直子
（弁ク）佐々木まどか　高橋　堅
政策委員会
委 員 長　小林　保（同友）
副委員長　小田原敬一（弁ク）
委員（同友）古谷史旺　関　昌充　井澤　幹
田辺　恵　高下雅弘
（弁ク）伊藤　進　山本晃司　岡田希子
永岡重幸　小國泰弘　今堀克彦
須山英明　奥川勝利　岩田耕一
富澤　正
企画委員会
委 員 長　須山英明（弁ク）
副委員長　吉田倫太郎（同友）
委員（同友）本田　淳　川崎ひかり
（弁ク）小國泰弘　下田憲雅
役員協議委員会
委 員 長　山川茂樹（弁ク）
副委員長　井澤　幹（同友）
委員（同友）安彦　元　山下幸彦
（弁ク）小國泰弘　絹谷晴久
調整委員会
委 員 長　長内行雄（同友）
副委員長　山川茂樹（弁ク）
委員（同友）小川眞一　吉村俊一
（弁ク）岸本達人　瀧澤匡則
研修委員会
委 員 長　山田武史（同友）
副委員長　飛田高介（弁ク）
委員（同友）横田香澄
（弁ク）柿本邦夫

30周年記念事業準備委員会
委 員 長　粕川敏夫（同友）
副委員長　永井義久（弁ク）
委員（同友）古谷史旺
（弁ク）永岡重幸

弁理士連合クラブ会則（昭和 62 年 9 月 29 日創立総会、即日施行）

第1章　総　則

（名　称）
第１条　・本会は、弁理士連合クラブと称する。
（目　的）
第２条　・本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。
（組　織）
第３条　・本会は、第2条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。
（事務所）
第４条　・本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。
（入退会）
第５条　・本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

第2章　総　会

（総　会）
第６条　・総会は、定時総会と臨時総会とする。
・定時総会は年2回2月、並びに 9月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。
（権　限）
第７条　・総会は、次の事項を審議する。
1）予算の議決及び決算の承認に関する事項
2）会則の制定、変更又は廃止に関する事項
3）役員、相談役及び顧問の選任に関する事項
4）日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項
5）その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項
（召　集）
第８条　・総会は、幹事長が召集する。
・総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。
(議長及び議事)
第９条　・総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。
・議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

第3章　役　員

（役　員）
第１０条　・本会に次の役員を置く。
1）幹事長1人
2) 副幹事長若干人
3) 幹事若干人
4) 監事若干人
幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。
役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年１月1日から12月31日までとする。
（幹事会）
第１１条　・幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。
・会務の執行は、幹事会がこれを決する。
・議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。
第１１条の２・幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

（幹事長）
第１２条　・幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
・幹事長は、本会を代表する。
・副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を代行する。
（報告等）
第１３条　・幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。
（監　事）
第１４条　・監事は、本会の財務を監査する。

第４章　委員会

（委員会）
第１５条　・本会に次の委員会を置く。
1）総務委員会
2）政策委員会
3）企画委員会
4）役員協議委員会
・幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。
（委員選任）
第１６条　・委員は、幹事会において選任する。
・委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の任期は幹事会が定める。
・委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。
（正副委員長）
第１７条　・委員会に委員長1人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
・委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
・委員長は委員会を代表する。
・副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務を代行する。
（委員会の会議）
第１８条　・議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。
（委員会の職務）
第１９条　・各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
1）総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
2）政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
3）企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
4）役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

第5章　相談役及び顧問

（相談役及び顧問）
第２０条　・本会に相談役及び顧問をおくことができる。
・相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験した者の中から選任する。
・相談役は相談役会を構成する。
・相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。

・相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の１２月３１日までとする。

第6章　会　計

（会計年度）
第21条　・本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、１２月３１日に終わる。
（特別会計）
第22条　・日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。
（経　　費）
第23条　・本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。
（監査報告）
第24条　・監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

第7章　規則の制定

（規則の制定）
第25条　・幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

第8章　会則等の改正

（会則の改正）
第26条　・本会則を改正するには、総会出席会員の３分の２以上の同意がなければならない。
（規則の改正）
第27条　・規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

附　則

1．この会則は、昭和62年9月29日から施行する。
2．昭和６２年度の役員及び顧問の任期は、昭和６２年９月２９日から昭和６３年３月３１日までとする。
3．昭和６２年度の会計年度は、昭和６２年９月２９日から昭和６３年３月３１日までとする。
4．この会則の一部改正は、平成５年５月１７日から施行する。
5．平成5年度の相談役の任期は、平成５年５月１７日から翌年３月３１日までとする。
6．この会則の一部改正は、平成１１年５月２１日から施行する。
7．この会則の一部改正は、平成１３年１月２５日から施行する。
8．この会則の一部改正は、平成１５年８月８日から施行する。
9．①この会則の一部改正中第１０条の規定は、平成１６年９月２２日から施行し、第６条、第１６条、第２０条、第２１条の規定は、平成１７年１月１日から施行する。
②平成１６年度の会計年度は、平成１６年４月１日から平成１６年１２月３１日までとする。
③平成１６年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成１６年４月１日から平成１６年１２月３１日までとする。
10.この会則の一部改正は、平成１９年２月２７日から施行する。

弁理士連合クラブ慶弔規則

第１条（目的）

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

第２条

(1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。

(ⅰ)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電

(ⅱ)会員が結婚したときは祝電

(2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。

第３条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

(1)下記の者が死亡したときは弔電

(ⅰ)会員

(ⅱ)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者

(2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典

(ⅰ)本クラブ幹事長又はその経験者

(ⅱ)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上の経験者

(ⅲ)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

第４条（罹災）

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、2ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意を表わす。

(1)本クラブ幹事長又はその経験者

(2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長を5回以上経験した者

第５条（額の決定）

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会において予めこれを定める。

第６条（特則）

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めたときは、幹事会の決定によってこれを行うことができる。

付　則

この規則は平成元年1月17日より施行する。

この規則の一部改正は平成13年1月25日から施行する。

「特別寄付金」を求めるときの運用基準

（目的）
第１条　この運用基準は、弁理士連合クラブ（以下、本会という。）の会務運営に必要な特別寄付金について定める。

（対象者）
第２条　特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者（本会設立前の経験者を除く。）とする。

（基準）
第３条　特別寄付金の基準は以下のとおりとする。
1.日本弁理士会会長又は同経験者・・・・・・・・・・・・・・・年６口
2.同副会長又は同経験者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 年２口
3.同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者・・・・ 年４口
4.同副監事長又は副議長若しくは同経験者・・・・・・・・ 年１口
5.本会の幹事長又は同経験者・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 年３口
6.同副幹事長又は同経験者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 年１口
１口１０,０００円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

（適用順位）
第４条　対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

（求めの手続及び時期）
第５条　特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。

第６条　この運用基準は、原則として満７０歳以上の者については適用しない。

《注》　・平成１２年度第７回幹事会（平成１２年１２月２１日開催）で決議
・平成１２年度第２回総会（平成１３年１月２５日開催）にて報告
・平成１２年度第８回幹事会（平成１３年３月２９日開催）で、第６条の追加を決議

特許業務法人 オンダ国際特許事務所

会長 弁理士　恩田 博宣
所長 弁理士　恩田　誠

〒500-8731 岐阜市大宮町2丁目12番地1

ＳＫ特許業務法人

代表社員
奥野 彰彦

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-12-40 広尾ビル4階
TEL:03-6712-6985　FAX:03-6893-1412

特許業務法人 永井国際特許事務所

弁理士　永井義久
弁理士　湯浅正之
弁理士　加藤和孝
弁理士　溝越聖裕
弁理士　永井　望
弁理士　三浦康浩

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目2番6号
日本橋通り二丁目ビル5階

黒田国際特許事務所

所長 弁理士　黒田　壽
弁理士　中村 弘通
弁理士　奥川 勝利
弁理士　上筋 克也

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-7-3
リーフスクエア新横浜ビル7階

Tokyo Central Patent Firm 東京セントラル特許事務所

パートナー弁理士　山本 晃司
パートナー弁理士　岸本 達人

〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10 オークビル京橋3階
Tel:03-5524-2323　Fax:03-5524-2325
http://www.central-pat.com

丸山国際特許事務所

所長 弁理士　丸山重輝
会長 弁理士　丸山英一
弁理士　山﨑高明

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-14-9 MFビル8階
TEL:03-5812-6733　FAX:03-5812-6737

小川特許商標事務所

弁理士
小川 眞一

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5
ディアマントビル2階
Tel:03-3256-8439　Fax:03-3256-9533
http://www.ogawapat.jp/

天野内外特許事務所

天野　泉
石川　憲

〒104-0031 東京都中央区京橋1-5-12
マルヒロ京橋ビル9階
Tel:03(6225)2270　Fax:03(3231)8820

特許業務法人 太陽国際特許事務所

所長・弁理士
中島　淳

副所長・弁理士
加藤 和詳

副所長・弁理士
福田 浩志

東京オフィス：〒160-0022 東京都新宿区新宿4丁目3番17号
TEL:03-3357-5171　FAX:03-3357-5180　info@taiyo-nk.co.jp
横浜ブランチ：横浜市　　USオフィス：米国バージニア州

RYUKA国際特許事務所

所長・弁理士・米国弁護士（カリフォルニア州）
龍華　明裕

〒163-1522 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー22階
TEL:03-5339-6800 FAX:03-5339-7790 URL:http://www.ryuka.com

知的財産を価値創造する
樹之下IP&LAWグループ
KINOSHITA IP&LAW GROUP

特許業務法人 樹之下知的財産事務所
KINOSHITA & ASSOCIATES

代表社員 所長 弁護士・弁理士
小泉　妙子

会長 弁理士
木下　實三

〒167-0051 東京都杉並区荻窪五丁目26番13号 Daiwa荻窪ビル3階
TEL:03-3393-7800㈹　FAX:03-3393-7808　URL:http://www.kinoshita-pat.co.jp

平成29年度 弁理士連合クラブ

幹事長 弁理士 粕川 敏夫

副幹事長 弁理士 塩野谷 英城

副幹事長 弁理士 絹谷 晴久

副幹事長 弁理士 笹川 拓

全会員のご支援ご協力に厚く感謝いたします。

30周年記念事業実行委員会

委員長	青山　仁（同友）		
副委員長	永井　義久（弁ク）		
式典部会長	吉村　俊一（同友)		
祝賀会部会長	山川　茂樹（弁ク）		
記念誌部会長	松本　直子（同友）		
委員	古谷　史旺（同友）	永岡　重幸（弁ク）	小野　友彰（同友）
	今堀　克彦（弁ク）	田辺　恵（同友）	岩田　克子（同友）
	笹野　拓馬（同友）	三苫　貴織（弁ク）	徳増あゆみ（同友）
	新井　宏（弁ク）	橘　祐史（弁ク）	美川　公司（弁ク）
	坂口吉之助（同友）	保屋野光繁（同友）	夏目　洋子（弁ク）
	尾崎　祐朗（弁ク）	張　華威（弁ク）	

機関誌「連合」30周年記念事業合併号

編集後記

企画委員会 委員長
笹野　拓馬

例年より遅くなってしまいましたが、機関誌『連合』No.28を無事に発行するに至りました。これもひとえに皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

さて、本年度の機関誌『連合』は、弁理士連合クラブ創立30周年記念事業の一環として記念誌との合併号になっています。

前半は、創立30周年記念式典・祝賀会の様子を掲載しております。是非ご覧頂いて、前回の創立20周年からの10年間を振り返る機会としていただければ幸いです。この10年間を振り返りますと、弁理士にとって大変厳しい時代だったと思います。次の10年が明るい未来になることを願ってやみません。

後半は、例年通り、本年度の会務報告となります。お忙しい中、原稿をご寄稿いただきました先生方に深く感謝申し上げます。報告内容をみますと、本当に多くの先生方が、弁理士連合クラブひいては日本弁理士会の発展のため、様々な活動に精力的に取り組んでいらっしゃるんだなと実感致します。

機関誌の編集作業は初めてでしたが、とても貴重な経験をさせていただきました。なんとか発行まで辿り着けてホッとしております。

最後に、この機関誌『連合』No.28合併号の発行にあたり、幹事長の粕川敏夫先生、担当副幹事長の絹谷晴久先生、企画委員会の皆様（副委員長の熊井寛先生、委員の權正英樹先生、瀧澤匡則先生、山下幸彦先生、川崎ひかり先生）には、多大なご協力を頂きました。同様に、30周年記念事業担当副幹事長の笹川拓先生、記念誌部会長の松本直子先生にも多大なご尽力を頂きました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

弁理士連合クラブ会報

連合

No.28

平成30年6月1日
発行　弁理士連合クラブ
編集　弁理士連合クラブ企画委員会